

第3次前橋市食育推進計画 ～元気 まえばし 食育プラン～

## 食育事業実績シート



令和3年度  
～上半期～

## 食育事業実績シートについて

「第3次前橋市食育推進計画」に基づき、関係各課等で様々な食育に関する事業を実施しています。

以下の4つの基本目標を柱とし、「市民の健康寿命の延伸」を全体目標としています。

- 1 生涯健康なからだを「つくる」
- 2 豊かなところを「はぐくむ」
- 3 地域の食文化を「つたえる」
- 4 食の安全・安心を「まもる」

各課の事業を、4つの基本目標ごとにまとめました。

## もくじ（基本目標別）

### 生涯健康なからだを「つくる」 36事業

#### 【子育て支援課】（17）

9～10か月児健診.....	1
1歳6か月児健康診査.....	2
2歳児歯科健康診査.....	3
3歳児健康診査.....	4
おくちげんき教室.....	5
オンライン教室.....	6
すこやか健康教室（栄養）.....	7
すこやか健康教室（歯科）.....	8
ステップアップもぐもぐ教室.....	9
にこにこ健康相談.....	10
ハローベビークラス.....	11
プリミークラブ.....	12
窓口健康相談.....	13
電話相談.....	14
動画配信.....	15
訪問栄養指導.....	16
離乳食講習会.....	17

#### 【長寿包括ケア課】（5）

介護予防サポーター養成研修・活動支援.....	18
各種介護予防教室での栄養講話 及び個別相談.....	19
噛む力をはぐくむ教室.....	20
健康教育.....	21
訪問栄養指導.....	22

#### 【国民健康保険課】（5）

特定保健指導.....	23
高齢者の保健事業と介護予防の一体的 実施事業.....	24
特定健診時および事後における情報提供 .....	25
健診時当日の特定保健指導.....	26
食に関する正しい情報 及び知識の情報発信.....	27

#### 【健康増進課】（7）

からだに美味しい食講座.....	28
前橋市食生活改善推進員協議会事業.....	29
まえばし健康づくり協力店.....	30
ウェルネス通信.....	31
若い世代への食育.....	32
歯科保健事業（成人歯科健康診査等）.....	33
動画配信.....	34

#### 【学校教育課】（2）

給食時間のリモート指導.....	35
給食時間における指導.....	36

**豊かなところを「はぐくむ」 1 3 事業**

【社会福祉課】(1)	
まえばしフードバンク事業.....	37
【子育て施設課】(2)	
お便り・レシピの配布.....	38
お楽しみメニュー・おやつの実施.....	39
【健康増進課】(3)	
「食育の日」推進.....	40
「食育月間」の推進.....	41
前橋・高崎連携事業.....	42
【ごみ減量課】(1)	
ごみ減量普及啓発事業.....	43
【生涯学習課】(5)	
親子で新じゃが掘り体験.....	44
ころとん飾り巻きずし写真展.....	45
きよさと焼教室.....	46
食育記事の館報掲載.....	47
子育て親子支援事業.....	48
【浄水課】(1)	
敷島浄水場	
施設見学における水道水への理解	
.....	49

**地域の食文化を「つたえる」 1 1 事業**

【生活課】(1)	
地域づくり協議会が行う食育関連事業	
.....	50
【観光政策課】(2)	
T-1 グランプリの実施.....	51
TONTON のまち前橋豚肉料理	
グルメブックの作成、加盟店舗の普及	
.....	52
【農政課】(3)	
郷土料理講習会.....	53
赤城の恵ブランド推進事業.....	54
伝統野菜づくり事業.....	55
【健康増進課】(1)	
農政課と連携した食情報発信.....	56
【教育委員会総務課】(3)	
食に関する情報提供.....	57
地産地消の推進.....	58
行事食と郷土食の提供.....	59
【生涯学習課】(1)	
減塩及び郷土食	
パネル展示.....	60

**食の安全・安心を「まもる」 2 事業**

【衛生検査課】(2)	
給食施設巡回指導及び研修会.....	61
食品衛生講習会.....	62

## 事業実績シート

取組の名称		9～10か月児健診（個別健診）	担当課 <u>子育て支援課</u> 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる ■まもる	
	目的	身体発育および精神発達の面から重要な時期とされる9～10か月の時点において健康診査を実施することにより、疾病や異常を早期発見し、健全な発達・発育をもたらすために適切な指導および治療等を行い、乳児の健康の保持増進を図ることを目的とします。	
	対象者	満9～10か月児（生後9か月以上1歳未満）	
	実施方法 内容	前橋市医療機関（小児科）へ委託し、身体、発達等の健康診査を行います。健診の結果から支援が必要な児に対しては、内容に合わせて地区担当保健師やその他の専門職が対応しています。健診票で栄養相談の欄に記載がある児に対して、管理栄養士が電話連絡し相談しています。	
	連携団体等	前橋市医師会	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：4月～9月 回数： 人数：栄養相談 57人(6月受診まで)	下半期（予定） 実施日：10月～3月 回数： 人数：
	期待される 効果等	相談内容から、離乳食の量が増えない、よくかめていない、食べさせて良い食品が分からないなど月齢に合わせた進み方についての不安や悩みが軽減されます。今後の離乳食の進め方を提言することで、児に合わせた離乳の完了へ移行できるような支援に繋がっています。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

## 事業実績シート

取組の名称		1歳6か月児健康診査	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> つくる <input checked="" type="checkbox"/> はぐくむ <input checked="" type="checkbox"/> つたえる <input type="checkbox"/> まもる	
	目的	幼児初期の身体発育、精神発達の面で歩行や言語等発達の標識が得られる1歳6か月の時点において健康診査を実施することにより、運動機能、視聴覚等の障害、精神発達の遅滞等障害をもった児を早期に発見し、適切な指導を行い、心身障害の進行を未然に防止するとともに、生活習慣の自立、むし歯の予防、幼児の栄養、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図ります。	
	対象者	満1歳6か月児以上	
	実施方法内容	1 医師の診察による疾病の早期発見、発達の確認(内科診察のみ個別健診で実施) 2 歯科医師の口腔健康診査 3 保健師の保健指導 4 歯科衛生士の口腔衛生指導 5 管理栄養士の栄養指導 6 心理士の心理相談 } 相談内容に応じて個別に対応 問診票等で心配や困りごとがある方、医師、保健師が栄養相談の必要性と判断した方に対し、個別で相談を実施します。栄養に関する資料を配布しています。保護者の相談内容に応じた支援を行うとともに、1歳6か月の頃の食事摂取量・食事のバランス、牛乳・乳製品の摂取、おやつに関するの情報提供を行います。	
	連携団体等	前橋市医師会、前橋市歯科医師会、群馬県歯科衛生士会 前橋市保健推進員協議会	
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日：4月～9月 回数：18回 人数：栄養相談166人（8月まで）	下半期（予定） 実施日：10月～3月 回数：18回 人数：
	期待される効果等	栄養相談では、食事の摂取量、食事・栄養バランス、おやつの回数や内容、食事で気になることなどについて確認と相談をしています。 1歳6か月の頃は離乳食の完了の時期で、発育、発達段階に応じた望ましい食生活となるように実践を伴う内容を勧めるとともに、保護者へは生活リズムの基礎づくり（早起き、早寝、朝ごはん）の重要性の普及、啓発に努めています。また、保護者自身の食事も含めて、家族全体の食事の大切さを伝えています。	
	取組み様子・写真・イラスト・グラフ等（あれば）		

## 事業実績シート

取組の名称		2歳児歯科健康診査	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	幼児初期のむし歯の予防が大切な時期に歯科医師による口腔内の疾病または異常の早期発見、歯科衛生士による歯科保健指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図ることを目的とします。	
	対象者	満2歳児	
	実施方法 内容	時間帯を分けて予約制で実施します。 1 歯科医師の口腔健康診査 2 保健師の保健相談 3 歯科衛生士の口腔衛生指導 4 管理栄養士の栄養相談 5 心理士の心理相談 } 相談内容に応じて個別に対応  栄養相談の対象者全員に生活リズムやおやつ、飲み物に含まれる糖分についての資料を配布しています。フードモデルや配布資料を使用し、2歳児の食事の留意点を伝えます。	
	連携団体等	前橋市歯科医師会、群馬県歯科衛生士会、前橋市保健推進員協議会	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：4月～9月 回数：12回 人数：栄養相談46人（8月まで）	下半期（予定） 実施日：10月～3月 回数：12回 人数：
	期待される 効果等	栄養相談内容は、食事の摂取量、食事や栄養バランスについて、牛乳・乳製品の量、野菜嫌い、偏食、メニュー、間食についての項目が多い傾向でした。悩みに応じた配布資料やレシピ提供を行い、不安や悩みの軽減を図ります。 口や歯の発育、発達に合わせた食材や調理法から、噛めるようになることで「自ら食べる意欲」にもつながること、また、生活リズムの基礎づくり（早起き、早寝、朝ごはん）の大切さやむし歯予防を含めた間食の役割等を保護者にお伝えしています。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

## 事業実績シート

取組の名称		3歳児健康診査	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	幼児期において幼児の健康、発達の個人的差異が比較的明らかになり、保健・医療による対応の有無が、その後の成長に影響を及ぼす3歳児のすべてに対して健康診査を行います。視覚、聴覚、運動、発達等の心身障害、その他疾病及び異常を早期に発見し適切な指導を行い、心身障害の進行を未然に防止するとともに、う歯の予防、発育、発達、栄養、生活習慣、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図ります。	
	対象者	満3歳児	
	実施方法 内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医師の診察による疾病の早期発見、身体及び精神面の発育状況の確認</li> <li>2 歯科医師の口腔健康診査</li> <li>3 保健師の保健指導</li> <li>4 歯科衛生士による口腔衛生指導</li> <li>5 管理栄養士の栄養指導</li> <li>6 心理士の心理相談</li> </ol> <p style="text-align: right;">} 相談内容に応じて個別に対応</p> <p>栄養相談に関しては、栄養指導を希望する者、医師・保健師が栄養相談の必要性を判断した方に対し個別で相談を実施。視覚的にわかりやすいようにフードモデルを使用した説明を行い、相談内容に応じた資料を使用します。</p>	
	連携団体等	前橋市医師会、前橋市歯科医師会、群馬県歯科衛生士会 前橋市保健推進員協議会	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：4～9月 回数：18回 人数：栄養相談84人（8月まで）	下半期（予定） 実施日：10月～3月 回数：18回 人数：
	期待される 効果等	<p>相談内容は食事の摂取量、間食、食事・栄養バランス、野菜嫌い、嗜好飲料、小食、むら食いについての順に多い傾向です。食品やお手伝いに興味を持ち、食育を始めるいい時期なので、食育につなげています。むし歯がある子どもに対して菓子類や嗜好飲料の摂取についての相談もあります。</p> <p>好奇心や理解度をひろげるこの時期に様々な食に関わる体験の環境を整えることで「食への意識」が養われ、「食を営む力」の基礎がつくられるということを保護者に認識してもらうことが重要です。</p> <p>3歳児健診は、栄養士が関わる乳幼児期の最後の健診となるため、実物大のフードモデルの展示を行い、食事量やおやつの量の確認をしてもらい、健康的な食生活を送れるよう支援しています。</p>	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p style="text-align: center;">フードモデルの展示の様子</p>	

## 事業実績シート

取組の名称		おくちげんき教室	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■ つくる ■ はぐくむ □ つたえる □ まもる	
	目的	保育所（園）、幼稚園、認定こども園の年少から年長の園児への正しい歯科知識の普及と歯みがきの習慣づけ、保護者や保育士に対して口腔衛生の意識と家庭での管理を高めさせることを目的に歯科指導を行います。	
	対象者	保育所（園）、幼稚園、認定こども園の入園児、保護者、職員、子育て支援センター利用の乳幼児及び保護者	
	実施方法内容	※新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をとり実施 1 開催場所 市内各保育所（園）・幼稚園・認定こども園 子育て支援センター 2 従事者 歯科衛生士1～2名 必要に応じ保健師等（地区担当中心） 3 実施内容 紙芝居・エプロンシアター・おくちの体操・歯みがき指導・パンフレットの配布等、1クラス20分程度の講話と演習を行う。 また保護者に仕上げみがきの指導を行う。	
	連携団体等	群馬県歯科衛生士会	
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日：5月～9月 回数：30回 人数：1,574人（8/11現在）	下半期(予定) 実施日： 回数： 人数：
	期待される効果等	口腔疾患は全身疾患に繋がることから、乳幼児期の口腔衛生に対する意識を高める。また毎食後の歯みがき、仕上げみがき、おやつの摂り方の周知をし、むし歯予防の知識を高める。  かかりつけ歯科医院を持つことの重要性を乳幼児、保護者、保育士に周知していきます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

## 事業実績シート

取組の名称		オンライン教室 (離乳食講習会・ステップアップもぐもぐ教室)	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■ つくる ■ はぐくむ □ つたえる ■ まもる	
	目的	新型コロナウイルス感染拡大の防止として、Web による在宅で参加できる健康教育を開催しました。『離乳食講習会』は、離乳食の開始から月齢に合わせた内容や形態・進め方についての講話と、作り方などの動画を交えて伝えることで、保護者が離乳食について不安を軽減できることを目的としています。また7か月以降の『ステップアップもぐもぐ教室』は、離乳食とおくちの健康についての講話や動画、デモンストレーションなどを取り入れて、離乳食の進め方や口腔衛生の知識の普及も目的としています。問いかけや質疑応答などで適切なアドバイスも行い、一方的な視聴だけの講座にならないように開催します。	
	対象者	満4か月～8か月になる第1子の保護者	
	実施方法内容	1 事前に参加者へ教室の参加案内と資料を送付 2 直前に希望者へ事前練習会開催 (Zoom 操作の確認、当日の注意事項など) 3 オンライン講習会 (管理栄養士、歯科衛生士による講話、動画、人形を使ったデモンストレーション) 4 終了後にアンケート実施	
	連携団体等		
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日：4月～9月 回数：7回 (予定含む) ①離乳食講習会：2回、予定1回 ②ステップアップもぐもぐ教室：3回、予定1回 人数：①19人 (6月まで) ②14人 (8月まで)	下半期 (予定) 実施日：10月～3月 回数：7回 ①離乳食講習会：4回 ②ステップアップもぐもぐ教室：3回
	期待される効果等	離乳食を進めていく際の不安を軽減する、調理技術の向上 月齢に合わせた食材の選び方やその調理方法の把握、調理形態の把握、食事の楽しさの増進、衛生面の意識の向上、口腔衛生の意識の向上  在宅で講座を受けることで、新型コロナウイルス感染のリスクが軽減します。講話中は同じ参加者の声が聞こえないように設定しているので、お子さんが泣いてしまっても気兼ねなく参加していただけます。またお子さんと一緒に参加していることで、画面上で安否確認をすることもできます。 動画やデモンストレーションで講話の内容を確認するとともに、離乳食の開始、作り方、進め方、おくちのケアなどをお伝えすることができます。	
	取組み様子・写真・イラスト・グラフ等 (あれば)		

## 事業実績シート

取組の名称		すこやか健康教室（栄養）	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	妊産婦および乳幼児に対して、地域に出向き必要な指導および助言を行い、母子保健に関する知識の普及及び食育の推進を行います。	
	対象者	保育所（園）・育児サークル・自主グループ・地域の親子の集まりなど、親子に関する情報等を希望する団体	
	実施方法 内 容	団体より依頼を受け、保健師、管理栄養士、保育士、歯科衛生士などの専門職が希望するテーマに合わせ、講話や個別相談を実施します。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をとり実施し、質問がある場合は電話で対応しています。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：4月～9月 回数：1回（予定） 人数：	下半期（予定） 実施日：10月～1月 回数：7回（予定） 人数：
	期待される 効果等	朝食の重要性、規則正しい食生活のリズムの確立、食事のバランスの確立、食事のマナー、食に関する知識の向上など 依頼内容や対象者に合わせた内容で講話ができるように、数種類の資料や媒体を使用しています。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）		

## 事業実績シート

取組の名称		すこやか健康教室（歯科）	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	妊産婦および乳幼児に対して、地域に出向き必要な歯科講話・指導を行い、母子保健に関する知識の普及及び歯科保健の推進を行います。	
	対象者	保育所（園）・育児サークル・自主グループ・地域の親子の集まりなど、親子に関する情報等を希望する団体	
	実施方法 内 容	団体より依頼を受け、保健師、管理栄養士、保育士、歯科衛生士などの専門職が希望するテーマに合わせ、講話や個別相談を実施します。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をとり実施。 個別相談あり。口腔内非接触にて行います。その他質問がある場合は電話で対応。	
連携団体等			
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：6月～9月（7月末までの実績） 回数：3回 人数：35人	下半期（予定） 実施日： 回数： 人数：
	期待される 効果等	乳幼児期の口腔衛生に対する知識と意識の向上。 また毎食後の歯みがき、仕上げみがき、おやつ摂り方の周知をし、むし歯予防の知識を高めます。 また講話後は個別相談を実施しているため、月齢や状況に応じ相談・対応することができます。 かかりつけ歯科医院を持つことの重要性を乳幼児、保護者、保育士等に周知していきます。 依頼内容や対象者に合わせた内容で講話ができるように、数種類の資料や媒体を使用しています。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）		

## 事業実績シート

取組の名称		ステップアップもぐもぐ教室	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる ■まもる	
	目的	離乳食を開始し進めていくに伴い、不安を感じる保護者が多いため、悩みを軽減し、適切な離乳食が与えられるような知識や技術の普及啓発を行います。また、幅広い味覚の形成や咀嚼能力を獲得するための離乳食レシピ、生活リズム・むし歯予防・育児に関することなど具体的な情報交換を行うことで保護者同士の交流も目指します。	
	対象者	原則として満7か月の第1子とその保護者	
	実施方法内容	※新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をして実施 1 歯科衛生士による講話「おくちのケアとむし歯予防」 2 管理栄養士による講話「7か月頃からの離乳食の進め方」 その他、離乳中期の離乳食メニューについてデモンストレーションの様子の写真を見せながら解説します。月齢別フードモデル・食具・災害に備えた非常食の展示と説明も行います。保護者同士の交流は行わず、アンケート用紙に質問を記入していただき、電話相談で対応しています。	
	連携団体等		
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日：5月～9月 回数：6回（予定1回含む） 人数：52人（8月まで）	下半期（予定） 実施日：10月～3月 回数：5回 人数：
	期待される効果等	月齢や子どもの状況に合わせた離乳食の進め方に関する知識の普及、生活習慣の改善、調理技術の向上、衛生面の意識の向上、不安の軽減を行います。前年度までのアンケートから、離乳食についての困りごとは思うように食べてもらえない（量が増えない）、食材の形態を変えていくのが難しい、レシピについて、などが多く、これらの困りごとへの対策を講話に盛り込むようにしています。また、レシピ集等作成した資料を配布しています。	
	取組み様子・写真・イラスト・グラフ等（あれば）	 <p>講話の様子</p>  <p>配布資料</p>	

## 事業実績シート

取組の名称		にこにこ健康相談	担当課 <u>子育て支援課</u> 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> つくる <input checked="" type="checkbox"/> はぐくむ <input type="checkbox"/> つたえる <input type="checkbox"/> まもる	
	目的	妊産婦および乳幼児の健康の保持増進のため、相談に応じ、必要な指導および助言を行い、母子保健に関する知識の普及及び母の不安軽減等の子育て支援を行うことを目的とします。	
	対象者	妊産婦および乳幼児の保護者	
	実施方法 内 容	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、完全予約制で実施しています。健康や育児上心配なことに対して、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、助産師、作業療法士が個別の相談を行います。</p> <p>栄養相談については、市管理栄養士の他、委託している管理栄養士で行います。生後5か月から1歳6か月までの離乳食や2～3歳頃の幼児食のフードモデル、目安量の記載された資料等使用し、相談を行います。</p>	
	連携団体等	群馬県助産師会、群馬県歯科衛生士会 群馬県栄養士会地域活動事業部前橋栄養士グループ「たけのこの会」	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：4月～9月 回数：12回（予定2回含む） 人数：栄養相談83人（8月まで）	下半期（予定） 実施日：10月～3月 回数：12回
	期待される 効果等	<p>栄養相談は離乳中期から後期の相談が多く、離乳食の進んでいくことで増える悩みなどに応じています。</p> <p>相談内容は、食事の摂取量、調理形態・固さ、たんぱく質食品、メニューについて、食事バランス、離乳食の始め方・進め方などが多い傾向でした。</p> <p>離乳食や幼児食の目安量の把握、食事のバランス、個々の食べ方や月齢に応じた食品の固さ、生活リズムの確立、間食の必要性や内容についてお伝えし、保護者の不安を軽減するとともに、家族の食習慣などについても見直す契機とします。また教室のお誘いや電話による相談及び訪問を行うことで、事後の支援を行います。</p>	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

## 事業実績シート

取組の名称		ハローベビークラス	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■ つくる ■ はぐくむ □ つたえる ■ まもる	
	目的	妊娠、出産、育児等に関する正しい知識を身につけることを目的とします。今年度から妊婦以外に家族1人まで参加を可能にして、家族が共通認識のもとによりよい生活が送れることも目的としています。	
	対象者	概ね妊娠5～9か月の安定期にある初妊婦	
	実施方法 内容	<p>妊娠・出産：助産師の講話「出産のイメージ作り、リラクゼーション他」          栄養・口腔：管理栄養士と歯科衛生士の講話「妊娠期の栄養とおくちの健康」          赤ちゃんのいる生活：保健師の講話「赤ちゃんとの生活について」          実習「沐浴、着替え、妊婦体験」</p> <p>栄養・口腔「妊娠期の栄養とおくちの健康」について          1 歯科衛生士による講話「妊娠期のおくちについて」          2 管理栄養士による講話「食生活を見直そう」          ・妊産婦のための食生活指針や食事バランスガイドについて説明          ・フードモデルや嗜好品のエネルギー量と糖分量のサンプルなどを展示          ・1日の食事記録表の提出          個々の食事バランスの分析と指導コメント等を入れ、後日返却</p>	
	連携団体等	群馬県助産師会	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：4月～9月 回数：栄養・口腔の講座10回 (予定2回含む) 人数：75組102人(7月まで)	下半期(予定) 実施日：10月～3月 回数：6回 人数：
	期待される 効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体格区分別の推奨体重増加の把握</li> <li>・朝食の重要性、規則正しい生活リズムの確立</li> <li>・適正体重妊娠週数に応じた食事バランスや適量の把握 フードモデルを活用し、視覚的に目安量を理解していただきます。</li> <li>・食事記録から、実践への展開 個々の食事記録から過不足を確認し、食事のバランスを整え、適量を摂取していただき、妊娠中の健康管理の一助としていただきます。同伴の参加者にも希望により食事記録表を提出していただき、食生活を見直していただいています。</li> <li>・間食についての正しい知識の習得、貧血予防、減塩に関する周知</li> </ul> <p>アンケートの結果から参考になった項目は「食事のバランス」「1日の適量」「目安量の確認」「注意が必要な食品」などが多く、規則正しい食生活の重要性を認識し、考えて食べることを習得していただいています。家族の健康を意識づける契機になるように支援しています。</p>	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	  <p>食事記録票</p> <p>食事バランスガイドと食事分析結果票</p>	

## 事業実績シート

取組の名称		プリミークラブ（未熟児親の会）	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	養育医療申請児等とその保護者を対象に、相談及び意見交流の場の提供を行い、前向きに育児をするための精神的支援を行っています。また、発育・発達面や育児面の経過観察及び助言・指導を行い、児の発達状況を適切に把握し支援すると共に保護者の不安解消を図ります。	
	対象者	養育医療申請児等とその保護者	
	実施方法 内容	保健師、保育士、管理栄養士、歯科衛生士が発育・発達面や育児面の経過観察及び助言・指導を行っています。管理栄養士は離乳食や幼児食に関する講話や個別栄養相談を行います。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期（予定）
		実施日：9月8日 回数： 人数：	実施日： 回数： 人数：
	期待される 効果等	お子さんに適した食事内容や形態の確認、食生活・生活習慣の改善、不安の軽減、仲間づくりを促進します。	
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)			

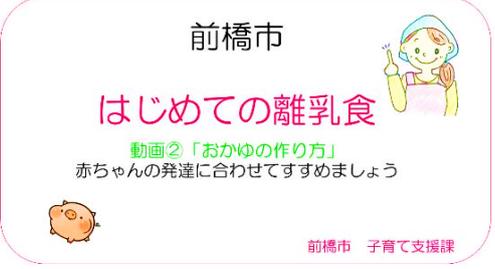
## 事業実績シート

取組の名称		窓口健康相談	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> つくる <input type="checkbox"/> はぐくむ <input type="checkbox"/> つたえる <input type="checkbox"/> まもる	
	目的	妊産婦とその配偶者又は乳児、幼児の保護者に対して、妊娠、出産、育児に関する相談、離乳食・幼児食に関する栄養相談に応じ、育児不安の軽減を図ります。また妊娠の届出をした方に、母子健康手帳の交付とともにマタニティーレシピを配布することを通じて、食生活の支援を行います。	
	対象者	妊産婦とその配偶者又は乳児、幼児の保護者	
	実施方法 内容	妊娠、出産、育児、離乳食、幼児食などに関する個別相談を行います。保健師や歯科衛生士の相談から連携して栄養相談を行います。妊娠の届出をした方に対してマタニティーレシピを配布しています。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：4月～9月 人数：栄養相談12人（7月末まで）	下半期（予定） 実施日：10月～3月 人数：
	期待される 効果等	妊娠中の正しい食生活の確立、妊娠中のメニューの充実、産後の栄養・食生活に関する情報提供を行うことで、安心して妊娠、出産や育児を行うことができます。乳幼児の保護者に関しては、離乳食が進むにつれての離乳食への不安の軽減、幼児食についての悩みや不安を軽減します。保健師や歯科衛生士の健康相談と併せて対応することで、生活面や口腔との関連性を理解しながら改善することに繋がります。いつでも相談できる相談窓口の周知を図っていきます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

## 事業実績シート

取組の名称		電話相談	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	電話において、妊産婦とその配偶者又は乳児、幼児の保護者に対して、妊娠、出産、育児に関する相談、離乳食・幼児食に関する栄養相談に応じ、育児不安の軽減を図ります。	
	対象者	妊産婦とその配偶者又は乳児、幼児の保護者	
	実施方法 内容	電話により健康や育児上心配なことに対して、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、作業療法士、助産師、心理士、保育士が個別の相談を行います。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：4月～9月 人数：栄養相談延べ257人（7月末まで）	下半期（予定） 実施日：10月～3月 人数：
	期待される 効果等	妊娠中の正しい食生活の確立、育児の不安軽減、産後の栄養・食生活に関する情報提供、離乳食が進むにつれての離乳食への不安の軽減、幼児食についての悩みや不安の軽減。 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う外出自粛で市民の不安が多く、相談できるところがなく悩んでいる方が多い印象を受けました。不安を伴いやすい妊産婦や育児の悩みを抱えている保護者に対し、情報提供や相談を行い、いつでも相談できる体制の周知を図っていきます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

## 事業実績シート

取組の名称		「はじめての離乳食」動画配信	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる ■まもる	
	目的	離乳食を開始するにあたり、開始時期の目安、食べさせ方や量の変化などについてわかりやすく動画で伝えることにより、情報量が多い中でも保護者の不安を軽減します。また、コロナ禍において講習会に参加しない保護者に対する支援も目的としています。	
	対象者	満4～5か月になる第1子の保護者、家族など	
	実施方法 内容	市のYoutubeにて2本の動画を掲載しました。 「はじめての離乳食」 1 離乳食の始め方 離乳の目的、開始時期の目安、食べさせる時のポイント、衛生面などについて 2 おかゆの作り方 おかゆを作る方法、つぶし方、フリージングについて	
連携団体等			
実績	実施日 回数 人数等	上半期 再生回数：8/20現在 1 1,330回 2 964回 (R2,8/20 1 465回 2 348回)	下半期（予定） 実施日： 回数： 人数：
	期待される 効果等	開始時期の見極め、おかゆが作れる、形態を理解する、講習会に参加しなくても開始ができること。 出生セットに動画の二次元コード付き日程表を同封し、早い時期から離乳食について関心をもつことで、適切な時期に開始することができます。 教室に参加する場合は保護者1名に限らせていただいておりますが、動画はいつでも、どこにいても視聴できるので、家族で共有し、同じ認識のもとに進めることができます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; width: 45%;"> <p>前橋市</p> <p><b>はじめての離乳食</b></p> <p>動画①「始め方」 赤ちゃんの発達に合わせてすすめましょう</p>  <p>前橋市 子育て支援課</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; width: 45%;"> <p>前橋市</p> <p><b>はじめての離乳食</b></p> <p>動画②「おかゆの作り方」 赤ちゃんの発達に合わせてすすめましょう</p>  <p>前橋市 子育て支援課</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">サムネイル画像</p>	

## 事業実績シート

取組の名称		訪問栄養指導	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる ■まもる	
	目的	保護者の離乳食等に対する疑問や不安を解消するため、管理栄養士が家庭訪問し、栄養・食生活指導、調理に対する技術的指導、衛生管理に関する助言、アレルギーに関する助言、保護者の食習慣に関する助言等を行うことで、育児の不安を軽減し、乳幼児の健全な育成環境の支援を図ります。	
	対象者	乳幼児とその保護者	
	実施方法 内容	家庭訪問希望者、保健師からの依頼により、自宅に出向きます。 管理栄養士単独又は保健師との同行で家庭訪問に伺います。 調理に対する技術的指導、食事の内容、子どもの食べ方や保護者が与える様子を把握し、月齢や年齢、生活環境に応じた支援を行います。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて実施しました。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：4月～9月（7月末まで） 回数：10回 人数：延べ22人	下半期（予定） 実施日： 回数： 人数：
	期待される 効果等	食生活・生活習慣の改善、調理技術の向上、衛生面の意識の向上、育児に関する不安の軽減。 相談内容 離乳食70% 幼児食30%  食べない悩みの場合は進み具合（食形状や調理法、味付け等）や食環境、食べさせ方からの具体的な助言や技術支援で食べるようになった等、訪問指導ならではの成果が上がっています。被訪問者は保護者が若年者、精神疾患患者、外国人等と様々で複雑なケースがあり、新型コロナウイルス感染症の関係で外出自粛している中で育児支援に繋がっています。今後も保健師等と連携し、健康相談や健診事後等から対象者の把握に努め、タイムリーな離乳食指導等を通じた子育て支援と食育の推進に努めていきます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	訪問の際に使用する資料の一部 	

## 事業実績シート

取組の名称		離乳食講習会	担当課 <u>子育て支援課</u> 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる ■まもる	
	目的	離乳食の開始から月齢に合わせた離乳食の内容や形態・進め方についてと、動画による作り方のデモンストレーションを交えて伝え、保護者が離乳食について不安を軽減できるように適切なアドバイスを行うことを目的としています。	
	対象者	満4～5か月になる第1子の保護者	
	実施方法 内 容	※新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をとり実施し、試食を行わず、展示品で対応しています。 1 離乳食に関する講話 2 野菜やたんぱく質食品のペーストの作り方、フリージングについての動画 3 手作り離乳食、ベビーフード、食具、月齢別フードモデル、災害に備えた非常食の展示説明 4 可能な範囲で個別相談を受け、それ以外は電話相談で対応	
連携団体等			
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：4月～9月 回数：5回 人数：75人（8月まで）	下半期（予定） 実施日：10月～3月 回数：6回 人数：
	期待される 効果等	離乳食に対する不安を軽減して開始できること、月齢に合わせた食材の選び方やその調理方法の把握、調理形態の把握、食事の楽しさの増進、衛生面の意識の向上。  市のHPに動画「はじめての離乳食」を掲載しており、保護者の方には予め参加前に動画を観てきていただいています。開始の目安やポイント、おかゆの作り方について学ぶことができ、講習会ではそれ以外の部分をより詳しくお伝えすることができます。実際に離乳食が始まり、進むにつれて不安を抱える保護者も多く、適切な離乳食が与えられるような知識や技術を普及啓発する必要があり、特に不安を抱える保護者に対しては電話相談だけでなく、必要に応じて訪問も実施し、継続支援も行っています。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p>講習会の様子</p>	

## 事業実績シート

取組の名称		介護予防サポーター養成研修・活動支援		担当課 長寿包括ケア課 問い合わせ先 027-898-6133	
概要	基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> つくる <input type="checkbox"/> はぐくむ <input type="checkbox"/> つたえる <input type="checkbox"/> まもる			
	目的	介護予防を实践できる人材の育成。介護予防サポーターは、食に関するボランティアとしての役割も担っており、スキルアップ研修等の機会を捉え、栄養・食生活に関する知識の普及・啓発し活動を支援します。			
	対象者	概ね60歳以上の市民			
	実施方法 内 容	介護予防サポーター養成研修（初級・中級）において、栄養・食生活に関する講話を行うほか、登録しているサポーターへのスキルアップ研修などを行い、活動を支援していきます。今年度は会場、オンライン、録画での4会場での開催となりました。			
	連携団体等				
実績	実施日 回数 人数等	上半期		下半期（予定）	
		実施日： 初級7/16・17 回数： 各1回 人数： 初級 54人		実施日： 回数： 人数：	
	期待される 効果等	サポーター自身の栄養・食生活の見直し実践につながるだけでなく、サポーターが得た知識を地域住民に普及することも期待できます。			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)					

## 事業実績シート

取組の名称		各種介護予防教室での栄養講話及び個別相談		担当課 長寿包括ケア課 問い合わせ先 027-898-6133
概要	基本目標	■ つくる □ はぐくむ □ つたえる □ まもる		
	目的	高齢者の健康の保持・増進、疾病予防、意識の啓発等を図ることにより、要介護状態に陥ることを予防し、健やかで活力ある自立した生活を継続して送ることができるよう支援することを目的とした各種介護予防教室において栄養・食生活に関する講話を行い、また、希望者には個別相談を受け付けることで、参加者の取り組みを促し、教室の目的達成に寄与することを目的とします。		
	対象者	65歳以上の市民		
	実施方法 内 容	<p>他職種が中心となり行う介護予防教室において栄養講話を行い、食に関する介護予防の取り組みを促しています。必要に応じて、個別に食べ方のアドバイスをを行っています。</p> <p>実施教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行動作軽やかスクール</li> <li>・脳力アップチャレンジ</li> <li>・筋トレ教室</li> <li>・アクティブライフ講座</li> </ul>		
連携団体等				
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期（予定）	
		実施日：4～9月 軽スク0回・脳チャレ2回・ 筋トレ1回・アクティブ1回 回数：4回（栄養講話の回） 人数：延べ40人 個別相談：4名	実施日：10～3月 回数： 人数：	
	期待される 効果等	教室参加のきっかけが、運動機能の維持や認知症予防などである参加者に対し、栄養・食生活を整えることの大切さやその手立てを伝えることで、食が関連することの理解と関心を高め、取り組みを促す機会になっています。		
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)				

## 事業実績シート

取組の名称		嚙む力をはぐくむ教室	担当課 長寿包括ケア課 問い合わせ先 027-898-6133
概要	基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> つくる <input type="checkbox"/> はぐくむ <input type="checkbox"/> つたえる <input type="checkbox"/> まもる	
	目的	嚙む力をはぐくむために必要な口腔ケアに関する講話や実習を行い、自ら実践する方法を身につけ家庭での実践につなげることを目的とします。	
	対象者	65歳以上の市民	
	実施方法 内容	地域の公民館等を会場とし、実施。歯科衛生士によるオーラルフレイル予防を中心とした講話や顔面体操、管理栄養士による講話を行います。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、歯磨きの実技を動画視聴にしています。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日： 6/22・9/30（予定） 回数： 2回（予定） 人数： 6/22参加者3人	下半期（予定） 実施日： 12/21・3/2 回数： 2回 人数：
	期待される 効果等	前橋市における介護予防の合言葉である「動いて・食べて・磨いて元気」のうち、食べて・磨いての実践につなげる手立てとなるよう口腔ケアの実技を中心としたプログラムであり、家庭での取り組みによる口腔機能の維持が期待できます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

## 事業実績シート

取組の名称		健康教育		担当課 長寿包括ケア課 問い合わせ先 027-898-6133	
概要	基本目標	■ つくる □ はぐくむ □ つたえる □ まもる			
	目的	健康や疾病等に関する情報、知識等を提供するとともに、高齢者の心身の状態に応じて助言等を行うことにより、高齢者の健康の保持・増進、疾病予防、意識の啓発等を測り、要介護状態に陥ることを予防し、健やかで活力ある自立した生活を継続して送ることができるよう支援することを目的とします。			
	対象者	65歳以上の市民			
	実施方法 内 容	健康・疾病・介護予防等に関する講演等を行い、適宜個別相談に応じます。 ●老人福祉センターにおいて定例で行うもの ●ふれあいいきいきサロン等団体からの依頼をもとに地区公民館等に出向くもの（健康教育）			
	連携団体等	老人福祉センター			
実績	実施日 回数 人数等	上半期（8月末現在）		下半期（予定）	
		老セン 回数： 6回 人数： 82人 個別相談： 10人	健康教育（栄養の 講話を含むもの） 回数： 5回 人数： 126人	実施日： 10～3月 回数： 人数：	
	期待される 効果等	老人福祉センターにおいては年間を通して定期的に行うため、季節の話題や時事を織り交ぜた情報提供や知識の普及を行っています。団体からの依頼については、高齢期の栄養課題である低栄養予防を中心に知識の普及と実践の促しをしており、自立した生活の継続につながると考えられます。			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)					

## 事業実績シート

取組の名称	訪問栄養指導	担当課 長寿包括ケア課 問い合わせ先 027-898-6133
概要	基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> つくる <input type="checkbox"/> はぐくむ <input type="checkbox"/> つたえる <input type="checkbox"/> まもる
	目的	高齢者が要支援・要介護状態に重症化することを予防し、住み慣れた家や地域で自立した生活が継続できるように支援します。
	対象者	65歳以上の市民
	実施方法内容	対象者の自宅へ訪問し、高齢者の心身の状態、食生活状況に応じて個別に栄養・食生活の助言を行う他、必要に応じ調理実習を行います。 ●対象者を限定しない一般訪問栄養指導 対象者や担当者等からの依頼により訪問。内容や回数は対象者に応じて行う ●要支援認定者と事業対象者を対象とした訪問型サービスC 概ね3か月を支援期間とし、回数は対象者に応じて決める ●高齢者配食サービス利用者のうち低栄養を理由とする者への訪問 低栄養となった理由、配食利用後の変化等について確認し、必要に応じてアドバイスを行う。 ●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施のハイリスクアプローチとして、低栄養のリスク（BMI18.5以上20.0以下、かつ前年度健診より2kg以上の体重減少のある対象者を抽出し、保健師及び管理栄養士等専門職による訪問指導等を実施する。
	連携団体等	地域包括支援センター、ケアマネジャー
実績	実施日回数人数等	上半期（8月25日現在） 下半期（予定） 人数：延べ38人
	期待される効果等	一般と訪問Cは、個々の課題に対応した支援を行うことにより、低栄養や疾病の重症化予防、食事準備能力の維持につなげることが期待できます。 配食低栄養訪問は、喫食状況や生活活動状況などの確認により実態を把握するとともに、食事摂取の助言を通して低栄養の改善につなげることが期待できます。 一体的実施のハイリスクアプローチは、BMIが18.5に近づきつつある対象者に対し早めに介入を行うことにより、低栄養の予防につなげることが期待できます。
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	

## 事業実績シート

取組の名称		特定保健指導 フードモデル及び食育タペストリー展示	担当課 国民健康保険課 問い合わせ先 027-220-5715
概要	基本目標	■ つくる □ はぐぐむ □ つたえる □ まもる	
	目的	特定保健指導の際に、参加者が食事バランスや食事の適量を学ぶことで、食生活を見直し、健康を自己管理していく力を育むことを目標とします。また、食生活を含む生活習慣の見直しにより健診結果の改善を目指します。	
	対象者	40歳から74歳までの被保険者で特定保健指導基準該当者	
	実施方法 内容	<p>前橋市国保特定健康診査を受診し、腹囲・血液検査などの結果から特定保健指導対象となった方のうち、利用希望者に対し、管理栄養士・保健師が生活改善に向けたアドバイス・支援を行います。</p> <p>前橋市国保特定保健指導は、保健指導室が行う直営と医療機関等が行う委託があります。</p> <p>直営の保健指導では、R3から面談実施時に、フードモデルや食育タペストリーの展示やレシピ提供を行い、食べ方等のフォローを実施しています。</p>	
	連携団体等	特定保健指導が可能な医療機関（委託）、健康増進課	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：(直営) 個別 通年 人数：148人 ※委託R2 健診分 89人 (未確定)	下半期 (予定) 実施日：(直営) 個別 通年
	期待される 効果等	食事に対する意識の向上、食生活・生活習慣の改善、健診結果の改善、健康増進	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p>フードモデル及び食育タペストリー展示の様子</p>	

# 事業実績シート

取組の名称		高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 (糖尿病性腎症重症化予防事業)	担当課 国民健康保険課 問い合わせ先 027-220-5715
概要	基本目標	■ つくる □ はぐくむ □ つたえる □ まもる	
	目的	群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムの対象基準により抽出された後期高齢者を対象に、保健師・管理栄養士が家庭訪問をしてアセスメント、受診確認(勧奨)、個人目標の確認および評価を行うことで糖尿病の重症化を予防し、生活習慣の改善、QOLの向上を目的とします。	
	対象者	群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムの対象基準により抽出された後期高齢者(80歳以下、介護1~5は除く)	
	実施方法内容	R2年度健診結果データから対象者を抽出し、保健師・管理栄養士が家庭訪問(3回)をし、アセスメントを行い、受診状況および生活習慣の確認をします。必要に応じて保健指導・栄養指導を行い、個人目標を設定します。3回目の訪問後、最終評価を行います。栄養指導に関しては、食事のバランスおよび菓子嗜好飲料のエネルギーの一覧表のチラシを配布し、食習慣の改善および糖質の多い食品の認識を高め、糖尿病性腎症重症化予防を目指します。	
	連携団体等	健康増進課	
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日：7月~9月 回数：63回(1人につき3回訪問) 人数：21人	下半期(予定) 実施日： 回数： 人数：
	期待される効果等	糖尿病性腎症重症化予防、食事に対する意識の向上、食生活・生活習慣の改善、健診結果の改善、健康増進	
	取組み様子・写真・イラスト・グラフ等(あれば)	  	
	訪問時の様子	個人目標設定シート	配布チラシ

# 事業実績シート

取組の名称		特定健診時および事後における情報提供	担当課 国民健康保険課 問い合わせ先 027-220-5715
概要	基本目標	■ つくる □ はぐぐむ □ つたえる □ まもる	
	目的	前橋市国保加入者の集団健診(総合健診含む)受診者に対し、生活習慣病と食事に関係する情報提供を行い、自身の食事について関心を持ち、見直しや改善の取組を促します。	
	対象者	40歳から74歳までの被保険者で集団での特定健診を受診した人	
	実施方法 内 容	集団健診の委託先(群馬県健康づくり財団、JA 群馬厚生連)と連携し、地区集団健診及び総合健診の健診時に、血圧が高かった人に高血圧予防の生活習慣や食生活のポイントのチラシを渡しています。また、結果郵送時に糖尿病性腎臓病に関連する食生活のポイントのチラシを同封し、情報提供を行っています。	
	連携団体等	群馬県健康づくり財団、JA 群馬厚生連	
実施日 回数 人数等	上半期	下半期(予定)	
	実施日：6～9月 回数：25回 人数：440人(8月末時点)	実施日：10～12月 回数：8回 人数：	
期待される 効果等	食への知識と関心の向上、食生活・生活習慣の改善、健康増進		
実績	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p>健診時チラシ</p>	
		 <p>結果郵送時チラシ</p>	

# 事業実績シート

取組の名称		健診時当日の特定保健指導（初回分割）	担当課 国民健康保険課 問い合わせ先 027-220-5715
概要	基本目標	■つくる □はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	健診日当日に特定保健指導を行うことで、健康意識が高まっている時に働きかけることができます。受診者にとっても利便性がよいため、効率よく生活習慣の改善につなげていきます。	
	対象者	総合健診受診者	
	実施方法内容	総合健診当日に腹囲（またはBMI）、血圧、服薬なしの抽出基準で対象になった受診者に特定保健指導の初回面接①を実施。健診結果が判明後、初回面接②を実施し、行動目標等を決定します。	
	連携団体等	群馬県健康づくり財団、JA群馬厚生連	
実績	実施日回数人数等	<p>上半期</p> <p>実施日：7月18日（JA、財団） 9月12日（JA） 人数：18人（7月18日）</p>	<p>下半期（予定）</p> <p>実施日：10月2日、11月21日（財団） 12月4日（JA） 12月19日（JA、財団） 人数：</p>
	期待される効果等	食生活・生活習慣の改善、健診結果の改善、健康増進	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p>行動目標設定シート</p>  <p>初回面接会場の様子</p>	

# 事業実績シート

取組の名称		食に関する正しい情報及び知識の情報発信	担当課 国民健康保険課 問い合わせ先 027-220-5715
概要	基本目標	■ つくる □ はぐぐむ □ つたえる □ まもる	
	目的	情報化社会が発達し、TVや新聞だけでなく、SNS等でも様々な栄養情報があふれています。ホームページやSNSを利用し、食に関する正しい情報及び知識を情報発信することにより、生活習慣病予防のための食生活改善につなげていきます。	
	対象者	40歳から74歳までの被保険者で特定保健指導基準該当者	
	実施方法内容	1～2か月に1回の頻度で、食や栄養に関するテーマのチラシを作成し、前橋市ホームページとfacebookにて周知します。 また、必要に応じて特定保健指導時に配付し、食生活改善に役立てていただきます。	
	連携団体等		
実績	実施日回数人数等	上半期 実施内容 6月 脂質のとり方 7月 アイスの世界 9月 野菜は350g	下半期 (予定)
	期待される効果等	食事に対する意識の向上、食生活・生活習慣の改善、健診結果の改善、健康増進	
	取組み様子・写真・イラスト・グラフ等(あれば)	 <p>前橋市ホームページ これホント? 食のギモンにお答えします</p>  <p>チラシ「第1回 脂質のとり方」</p>	

## 事業実績シート

取組の名称		からだにおいしい食講座	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる ■まもる	
	目的	健康的な食生が送れるよう、食に関する正しい知識の普及を図り、生活習慣病の予防につなげるとともに、食育を普及します。	
	対象者	市民	
	実施方法 内容	食に関する講話 <テーマ> 第1回、2回 知って得する！野菜の魅力 第3回、4回 無理なくできる減塩のワンポイント 第5回、6回 基本の食事で免疫力アップ！	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：4～9月（第2回は中止） 回数：2回（予定） 人数：第1回 11人 第3回 15人（予定）	下半期（予定） 実施日：10月～3月 回数：3回 人数：45人
	期待される 効果等	テーマに応じた講話を実施することで、食事の基本やバランスよく食べることの必要性について学ぶことができます。今年度も感染症対策のため調理実習は実施せず、講話のみの開催となりましたが、講話を通じて食生活の見直しや改善に役立つ情報を提供することで、食事の面から生活習慣病予防に向けた意識づけや取組につながることを期待できます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	  	

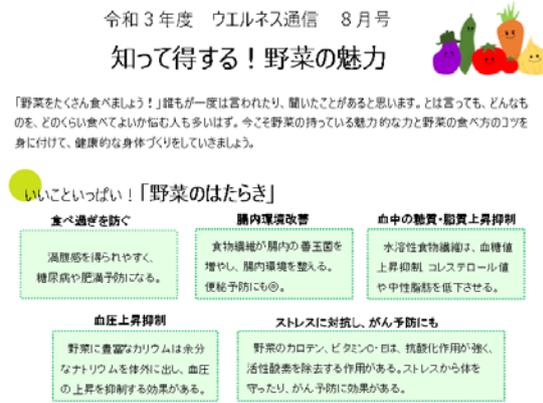
## 事業実績シート

取組の名称		前橋市食生活改善推進員協議会事業	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる ■まもる	
	目的	「健康まえばし21(第2次計画)」「元気まえばし食育プラン(第3次前橋市食育推進計画)」において、野菜摂取をこころがけ、バランスの良い食事を規則正しく食べる習慣を身につけることを目標としており、前橋市食生活改善推進員協議会の会員が市民に対し、市民が健康的な食生活が送れるように食に関する情報を周知します。	
	対象者	市民	
	実施方法内容	<p>【はっぴい健康クッキング】 テーマを「若いころからの骨づくり大作戦!」とし、各公民館等で市健康増進課の管理栄養士による講話と食生活改善推進員によるレシピの説明を行います。教室が開催できない地区は、教室参加予定者に家庭訪問により資料の説明を行います。</p> <p>【おやこの食育教室】 年長から小学生のお子さんがあるご家庭に、食育5つの力をテーマに食に関する資料とお勧めメニューをご家庭や学校を通して配布します。</p> <p>【減塩普及活動】 減塩に関する情報を公民館等で啓発又はご家庭に資料を配布し、周知を行います。</p>	
連携団体等			
実績	実施日回数人数等	上半期	下半期(予定)
		実施日：はっぴい健康クッキング 回数：1地区 人数：12人 実施日：おやこの食育教室 回数：3地区 人数：205人	実施日： 回数： 人数：
	期待される効果等	<p>【はっぴい健康クッキング】 骨粗鬆症に関する知識の普及と食事のバランスを整え、カルシウムを効果的に摂取する方法を習得します。</p> <p>【おやこの食育教室】 子どもにとって幼少期から小学校低学期は、人格形成に最も大切な時期であり味覚を始め豊かな感性を培われ、心と体のバランスのとれた人格を育てるとも言われています。食の大切さを知り、主食、主菜、副菜の組み合わせを知ること生涯健康ですごすための食生活を送ることができます。</p> <p>【減塩普及活動】 自身がどのくらい塩分を摂取しているか、摂りすぎると身体にどう影響を及ぼすかを理解し、生活の中で減塩を心がけ、摂取する塩分量を減らします。</p>	
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)			

## 事業実績シート

取組の名称		まえばし健康づくり協力店	担当課 <u>健康増進課</u> 問い合わせ先 027-220-5783	
概要	基本目標	■ つくる ■ はぐくむ ■ つたえる □ まもる		
	目的	市民の健康寿命を延伸し、心身ともに健康で質の高い生活を送るために、市民の健康を食生活の観点から支援するために食環境を整えることが重要になっています。「健康メニュー」や「健康サービス」を提供して市民の健康づくりの応援をするお店を「まえばし健康づくり協力店」として登録しています。		
	対象者	所在地が市内にある下記施設 飲食店、そう菜等製造店、宿泊施設、事業所給食施設、小売業等販売店舗		
	実施方法 内容	登録要件「健康メニュー」「健康サービス」の両方またはいずれか一方を実施していること。		
		<健康メニュー>		
		メニュー項目	1食分あたりの基準	
バランスメニュー		<ul style="list-style-type: none"> <li>・主食、主菜、副菜がそろっている</li> <li>・食塩相当量 3.5g以下</li> <li>・野菜量 100g以上</li> <li>・エネルギー 概ね500～700kcal程度</li> </ul>		
エネルギーひかえめメニュー		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー 650kcal以下</li> </ul>		
食塩ひかえめメニュー		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食塩相当量 3.0g以下</li> </ul>		
野菜たっぷりメニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜量 120g以上</li> </ul>			
<健康サービス>				
サービス項目	例			
食塩ひかえめ	味つけをうすく調整できる			
エネルギーひかえめ	主食の量を調整できる			
野菜たっぷり	野菜のおかわりができる			
食べやすさ	希望に応じて固さや大きさを調整できる			
健康情報提供	健康情報の発信、栄養成分表示			
連携団体等				
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：4月～9月 登録店舗数：3店舗（合計156店舗）	下半期（予定） 実施日： 登録店舗数：	
	期待される効果等	健康メニューの登録が増えることで、外食や中食、テイクアウトでの食事の選択肢がふえます。また、1食あたりの基準値を満たす食事を食べることで自らの食事を見直すきっかけとなることが期待されます。		
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	登録証   ステッカー 		

## 事業実績シート

取組の名称	ウエルネス通信		担当課 <u>健康増進課</u> 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	働き世代への健康づくりの働きかけが必要とされています。市と企業が連携して健康づくりを推進するウエルネス企業。栄養情報と旬の野菜を使ったレシピを配信します。	
	対象者	まえばしウエルネス企業 258企業	
	実施方法 内 容	「まえばしウエルネス企業」に栄養情報と旬の野菜レシピの発信をメールと郵送で行いました。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：5、8月 回数：2回	下半期（予定） 実施日：11、2月（R4） 回数：2回
	期待される 効果等	職場において栄養・食生活等に関する情報が提供され、働き世代の生活習慣病予防や食育の周知につながります。	
実績	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	<p style="text-align: center;">令和3年度 ウエルネス通信 8月号</p> <p style="text-align: center;">知って得する！野菜の魅力</p>  <p>「野菜をたくさん食べよう！」誰もが一度は言われたり、聞いたことがあると思います。とは言っても、どんなものを、どのくらい食べてよいかわかる人も多くは、今こそ野菜の持っている魅力的な力と野菜の食べ方のコツを身に付けて、健康的な身体づくりをしていきましょう。</p> <p><b>いいこといっぱい！「野菜のはたらき」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>食べ過ぎを防ぐ</b> 満腹感を得られやすく、糖原病や肥満予防になる。</li> <li><b>腸内環境改善</b> 食物繊維が腸内の善玉菌を増やし、腸内環境を整える。便秘予防にも◎。</li> <li><b>血中の脂質・脂質上昇抑制</b> 水溶性食物繊維は、血糖値上昇抑制、コレステロール値や中性脂肪を低下させる。</li> <li><b>血圧上昇抑制</b> 野菜に豊富なカリウムは余分なナトリウムを体外に出し、血圧の上昇を抑制する効果がある。</li> <li><b>ストレスに対抗し、がん予防にも</b> 野菜のカロチン、ビタミンCは、抗酸化作用が強く、活性酸素を除去する作用がある。ストレスから体を守ったり、がん予防に効果がある。</li> </ul> <p><b>1日に野菜はどのくらい食べたらいいの？</b></p> <p>答えは <b>1日350g以上！！</b></p> <p>健康維持のために必要なビタミン、ミネラル、食物繊維を満ちた野菜の量は、色々な種類の野菜を組み合わせると1日350g以上です。緑黄色野菜と淡色野菜を1：2の割合で摂ることが理想です。</p> <p><b>野菜350g</b></p> <p style="text-align: center;">色の濃い <b>緑黄色野菜 120g</b> + 色の薄い <b>淡色野菜 230g</b></p> <p style="text-align: center;">( 1 : 2 )</p> <p>野菜の豆知識と野菜の料理動画をYouTubeで紹介中！</p> <p>野菜 1日350g</p> <p>【問い合わせ】前橋市保健センター3階 健康増進課 地域保健係 TEL:220-5708 FAX:223-6849</p>	

## 事業実績シート

取組の名称		若い世代への食育 学生定期健康診断時における栄養相談および 食育展示	担当課 <u>健康増進課</u> 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	若い世代が将来の健康を意識し、生活習慣病予防のための食習慣の獲得を目的とします。	
	対象者	前橋工科大学 大学生	
	実施方法 内容	前橋工科大学学生定期健康診断の再検診時に栄養相談を行いました。 学生定期健康診断再検査の対象となった学生が医師の診察を受け、市健康増進課管理栄養士が健診結果に基づいた栄養相談を実施し、各々に適した資料を配布しました。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：6月28日、7月7日 回数：2回 人数：41人（再検査対象95人）	下半期（予定） 実施日： 回数： 人数：
	期待される 効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育に関心を持ち、自ら食生活の改善に取り組む</li> <li>・将来の健康を意識する</li> <li>・食に関する正しい知識の取得</li> </ul> <p>【食生活アンケート結果】 栄養相談実施の学生の半数が1日の食事回数が2回か1回で、朝食に関しては3割強の学生が食べていないという結果だった。また、高コレステロール値や高血圧の学生も多く見られたので、若いうちからの正しい食生活の実施の必要性を強く感じました。</p>	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	栄養相談会場の様子 	

## 事業実績シート

取組の名称		歯科保健事業（成人歯科健康診査等）	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5708
概要	基本目標	■ つくる □ はぐくむ □ つたえる □ まもる	
	目的	高齢期における健康を維持し、食べる楽しみを享受できるよう、歯の喪失を予防するために成人歯科健康診査を実施しています。 また、歯と口腔の健康づくりを普及するため、健康教育・相談等を実施し、口腔ケア・口腔機能の維持向上を推進していきます。	
	対象者	小学生～高齢者まで	
	実施方法内容	<p>■ 成人歯科健康診査 対象者：前橋市に住民登録のある20歳～70歳の5歳刻み年齢 健診内容：問診、口腔内診査</p> <p>■ 歯と口腔の健康づくりの普及 感染症対策を講じ、学校や地域団体等に模型での刷掃指導や講話を行います。 学齢期、青年期、壮年期、高齢期へのライフステージに合わせたセルフケアの方法や、定期的な歯科健診への受診勧奨を行います。</p>	
連携団体等	前橋市歯科医師会、前橋市学校歯科医会、学校保健会、群馬県歯科衛生士会中央支部、群馬県歯科技工士会前橋地域		
実績	実施日回数人数等	上半期	下半期（予定）
	期待される効果等	口腔機能の維持向上（オーラルフレイル予防）、食習慣の改善、健康増進早期からの定期的な歯科健診、毎日の歯間清掃用具の使用により、口腔内の健康を維持することにつながります。昨年度から引き続き、働き盛り世代への周知やスマイル健診受診者など個別受診勧奨に力を入れ、健診受診率及び、市民の口腔への健康意識の向上を目指します。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 	
	成人歯科健康診査周知チラシ		市民健康講座周知チラシ

## 事業実績シート

取組の名称		食育動画「元気まえばし 健康クッキング」 動画配信		担当課 <u>健康増進課</u> 問い合わせ先 027-220-5783	
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる ■まもる			
	目的	第3次前橋市食育推進計画の全体目標として掲げる「市民の健康寿命の延伸」を達成するため、健康増進課が食育動画を制作し、前橋市公式YouTubeで動画を配信しています。 なお、幼少期から高齢期まで幅広い年代を対象に本市の栄養課題である朝食欠食・野菜の摂取不足等をテーマとした内容となっており、多くの市民が食育に関心を持つことで一層の取り組みの展開を図ることを目的としています。			
	対象者	前橋市民			
	実施方法 内 容	知って得する！野菜の魅力 ①5月 野菜のはたらき アスチーパリパリまきの作り方 ②8月 野菜のなかま、黄金比 豚サラダ井作り方			
	連携団体等				
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期（予定）		
		実施日：8月27日現在の視聴回数 回数：①157回 ②91回 人数：	実施日： 回数： 人数：		
	期待される 効果等	動画はオリジナルのキャラクターが誘導、世代を問わず視聴できます。野菜に関する知識を得て、野菜を使った料理を作ることで野菜摂取の増加につながる一助となることが期待できます。			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	①5月			②8月	

## 事業実績シート

取組の名称		給食時間のリモート指導	担当課 南部共同調理場 問い合わせ先 027-265-0591
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	指導を行った学校の児童は小食気味であり、さらに好きな物だけを食べる傾向も見受けられます。そこで何でも食べる事の大切さ、ことに野菜を食べる大切さを知り、食べていこうとする意欲につなげたいと思いリモート指導を実施しました。	
	対象者	小学校1年～6年	
	実施方法 内 容	6月 学校の放送室から全クラスへリモート指導 ・きつねのパペットを用い、野菜のパワーについて、また1日に食べて欲しい野菜の量について一緒に考え、実践していけるように伝えました。	
	連携団体等	指導学校の教員	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：6月 回数：1回 人数：491人	下半期（予定） 実施日： 回数： 人数：
	期待される 効果等	野菜のパワーについて児童たちが何となく感じていたものを解りやすく4つにまとめて伝えたことにより、理解を深めることができたと思います。さらに1日に食べて欲しい野菜の量を写真で提示したことで、自分の食生活での野菜摂取について考えられ、不足している場合は補っていこうとする意欲を持たせることができたと思います。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

## 事業実績シート

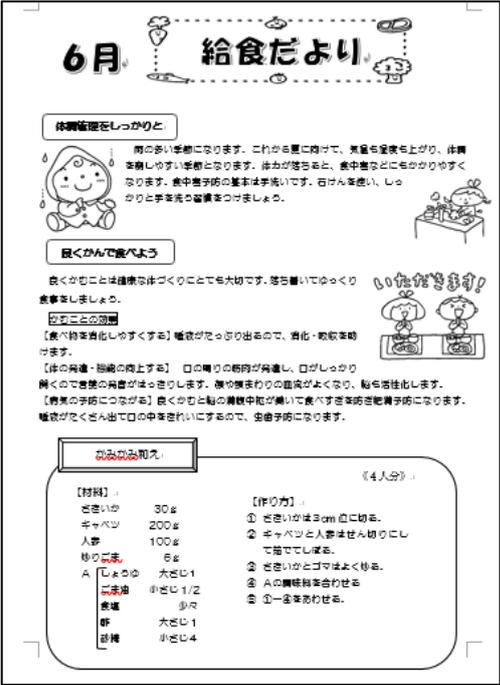
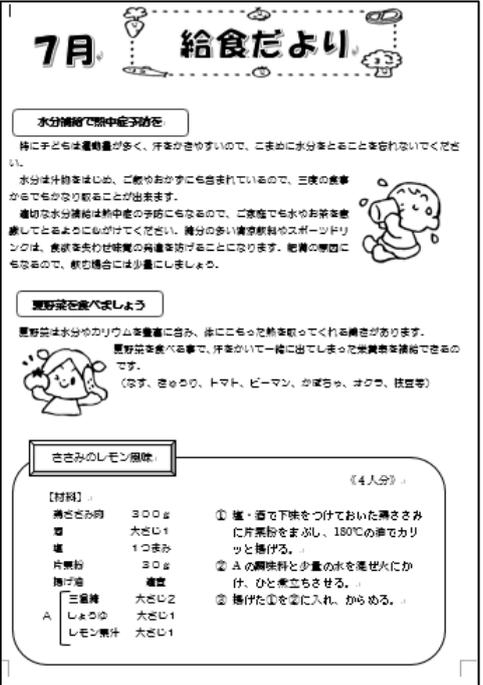
取組の名称		給食時間における指導	担当課東部共同調理場 問い合わせ先 027-268-2911
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	給食時間における食に関する指導を実施しました。	
	対象者	粕川中学校1年生	
	実施方法 内 容	リモートにより1年生に当日の給食を教材に「バランスよく食べよう」「水分補給について」の指導を行いました。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：6月17日 回数：1回 人数：96人	下半期（予定） 実施日：10月 12月 回数：2回 人数：172人
	期待される 効果等	「バランスよく食べよう」「水分補給について」「成長期の食事について」「受験期の食事について」のテーマに基づいて実際の給食を教材に指導することにより、生徒が食に関する知識や食への関心を深め、前橋市の「食に関する指導」の基本目標である「健康なからだをつくる」「豊かなところをはぐくむ」「地域の食文化を伝える」について理解することが期待されます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

## 事業実績シート

取組の名称		まえばしフードバンク事業	担当課 社会福祉課 問い合わせ先 027-898-5845
概要	基本目標	<input type="checkbox"/> つくる <input checked="" type="checkbox"/> はぐくむ <input type="checkbox"/> つたえる <input type="checkbox"/> まもる	
	目的	生活困窮等の事情から、日々の食事に不自由し社会的支援を必要とする方に対し、規格外等の様々な理由により廃棄の対象となる食品を食品関連企業及び地域団体等から無償で提供を受け、その食品を配布すること（フードバンク事業）により、生活の維持・向上及び食のセーフティネットとして支え合う地域づくりの推進を目的としています。	
	対象者	生活困窮者及び福祉団体等	
	実施方法 内 容	NPO法人三松会への委託事業として実施 1 フードバンク利用にあたっては、「まえばし生活自立相談センター（市役所社会福祉課内）」が申請窓口となります。 2 フードバンクまえばしから、自宅への食糧配付も行っています。 3 食品関連企業や市民の方からの食品の寄付を受け付けています。 4 子どもを対象とした無料学習支援を実施する団体や子どもの居場所づくりを目的とした福祉団体等への食糧提供支援を行っています。 5 フードドライブ運動を推進しています。	
	連携団体等	食品関連企業、市民団体等	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日： 回数： ※実績については別表 人数：	下半期（予定） 実施日： 回数： ※実績については別表 人数：
	期待される 効果等	生活困窮者の生活の維持・向上及び食のセーフティネットとして支え合う地域づくりの推進の他に、子どもの居場所作りの推進にも効果が見られる。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	※実施結果については別表	



# 事業実績シート

取組の名称		お便り・レシピの配布		担当課 子育て施設課 問い合わせ先 027-220-5706	
概要	基本目標	■つくる ■はぐぐむ ■つたえる ■まもる			
	目的	保護者の食に関する様々な情報を掲載し食に関する知識向上と、保育所献立について保護者への情報提供を行い、家庭への食育につなげます。			
	対象者	公立保育所園児の保護者			
	実施方法 内 容	毎月テーマを決めて、食に関する情報とその月の給食レシピを掲載。献立表とともに、毎月保護者に配付。			
	連携団体等				
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：毎月 回数：6回 人数：毎月、園児約1,500人の保護者	下半期（予定） 実施日：毎月 回数：6回 人数：毎月、園児約1,500人の保護者		
	期待される 効果等	保護者の食への理解を深め、食事を作ることや子どもと一緒に食べることに喜びを持つことができるよう、家庭での献立作成の手助けをするとともに、食に関する不安を減少させる。			
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 			

## 事業実績シート

取組の名称		お楽しみメニュー・お楽しみおやつの実施		担当課 <u>子育て施設課</u> 問い合わせ先 027-220-5706	
概要	基本目標	■つくる ■はぐぐむ ■つたえる ■まもる			
	目的	日常と非日常のメリハリをつける事によって、食事をより楽しいものと感じてもらえることを目的としています。また、季節や年中行事などを考慮した献立にし、伝統を知らせる機会としています。			
	対象者	公立保育所園児			
	実施方法 内 容	月に一回、お楽しみメニューの日とお楽しみおやつの日を実施。献立は統一であるが、実施日は保育所ごとに設定。			
	連携団体等				
実績	実施日 回 数 人数等	上半期	下半期（予定）		
		実施日：毎月それぞれ1回 回 数：6回×2回 人 数：毎月、園児約1,500人	実施日：毎月それぞれ1回 回 数：6回×2回 人 数：毎月、園児約1,500人		
	期待される 効果等	日常と非日常のメリハリをつける事によって、食事をより楽しいものと感じてもらえることを目的としています。また、季節や年中行事などを考慮した献立にし、伝統を知ることができます。			
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)				
	<b>【献立内容】</b> たけのご飯 こいのぼりハンバーグ 胡瓜と卵の吹流し 果物 すまし汁		サクサクこいのぼりパイ 麦茶		

# 事業実績シート

<p>取組の名称</p>	<p>「食育の日」推進</p>		<p>担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783</p>
<p>概要</p>	<p>基本目標</p>	<p>□つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる</p>	
	<p>目的</p>	<p>「毎月19日は食育の日」の普及啓発を目的とし、食を通じた家庭や地域のコミュニケーション強化、食育推進を図ります。 3カ月に一度、19日に「食」に関する情報をFacebook等で市民の方へ発信を行うとともに、全庁掲示板にて職員にも発信を行います。</p>	
	<p>対象者</p>	<p>市民、職員</p>	
	<p>実施方法 内容</p>	<p>全庁掲示板・Facebook等での情報発信 5月：時間栄養学をヒントにした新しい食生活のすすめ 8月：秋バテに気をつけよう！</p>	
	<p>連携団体等</p>	<p></p>	
<p>実施日 回数 人数等</p>	<p>上半期</p>	<p>下半期（予定）</p>	
<p>実施日 回数 人数等</p>	<p>実施日：5月19日、8月19日 回数：2回 人数：</p>	<p>実施日：11月、2月 回数：2回 人数：</p>	
<p>期待される 効果等</p>	<p>食育の日のPR活動として、全庁掲示板にて職員への「食」に関する情報発信、フェイスブック等で市民の方への情報発信を行うことで、食生活・生活習慣の見直しや改善につながることを期待されます。</p>		
<p>実績</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p><b>取組み様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真</li> <li>・イラスト</li> <li>・グラフ等（あれば）</li> </ul>  <p>「食」を「食」くすると書くように「食」は私たちのいのちの基本です。健康づくりも「食」から。「なにを」「どれだけ」食べるのかという従来の栄養学に体内時計の働きに基づいて「いつ」「どう」食べるかの視点を加えたものを「時間栄養学」と言います。新学期、新生活に慣れてきたところで、食生活の見直しをしてみませんか？毎月19日は食育の日。食事を楽しんでみませんか。</p> <p>～時間栄養学をヒントにした新しい食生活のすすめ～ ～体内時計を整える3つのポイント～</p> <p>「朝が苦手」、「午前中は集中できない」、「メタボが気になる」、「よく寝れない」など、こうした体調不良は、食べる「時間」に関係があるのかもしれない。食べる時間を考えれば、体調を整えることができます！</p> <p>※、注目されている時間栄養学から見た食生活のポイントを紹介します。</p> <p>① 夕食は、朝食から12時間以内 1日の中で暮らしている時間を合わせて何本口しない時間帯（総量）が一定以上あるメリハリのある食生活を送ることも大切です。</p> <p>② 基本は「朝食」をしっかりとする 私たちの体内時計は、毎朝の光と朝食でリセットされます。しっかりとすることで時計が活性化し、仕事の効率や成績がアップします。</p> <p>③ 朝食は比較的自由に食べてOK！ 朝食は朝食から12時間以内でOK！</p> <p>④ 夕食は比較的早く食べる 夕食は比較的早く食べる。夕食は比較的早く食べる。夕食は比較的早く食べる。</p> <p>⑤ 夕食の量は「3：3：3」が黄金比！ 私たちの体は夕食の時間帯に食べたものを蓄積して蓄積させるため、夕食の量が多いと太ります。体内時計が乱れ、夜型になりがちです。せめて「朝：昼：夕」が3：3：4くらいになるようにしましょう。</p> <p>※：日本栄養士会「時間栄養学で見直す食生活」 制作：健康増進課</p> </div> <div style="width: 48%;">  <p>「食」を「食」くすると書くように「食」は私たちのいのちの基本です。健康づくりも「食」から。「なにを」「どれだけ」食べるのかという従来の栄養学に体内時計の働きに基づいて「いつ」「どう」食べるかの視点を加えたものを「時間栄養学」と言います。新学期、新生活に慣れてきたところで、食生活の見直しをしてみませんか？毎月19日は食育の日。食事を楽しんでみませんか。</p> <p>毎月19日は食育の日。食事を楽しんでみませんか。</p> <p>～秋バテに気をつけよう！～</p> <p>★ バランスよく食べよう！</p> <p>副菜 主にビタミン、ミネラル、食物繊維の供給 からだの調子を整える</p> <p>主食 主に炭水化物の供給 エネルギーの元になる</p> <p>主菜 主にたんぱく質の供給 からだをつくるもとになる</p> <p>副菜 みそやスープは、具だくさんな副菜になる</p> <p>生活習慣を見直してからだの調子を整えよう！！</p> <p>毎朝、朝ごはんはしっかり食べて 食事のリズムを整えて、からだのリセットをしましょう。</p> <p>1日1回の入浴 自分から心地よいと感じられる温度で、からだを軽く洗ってリラックスしましょう。</p> <p>睡眠はしっかりとりよう！ 睡眠不足はストレスになるため、しっかりと休息、睡眠をとってリラックスしましょう。</p> <p>秋バテを改善するために役立つ栄養素3つ！！</p> <p>ビタミンB 疲労回復に効果的！ からだに蓄積されにくいので、積極的にとりましょう。</p> <p>ビタミンC ビタミンにはストレスを軽減する作用があります。</p> <p>貴買なたんぱく質 からだの重要な構成成分！ からだをつくるもとになります。</p> <p>じゃがいものビタミンBは、でんぷんに含まれているため、水や熱に強い！</p> <p>鶏ささみは、脂質が少ないため、さっぱりと食べることができるといわれています。</p> <p>～体調についてもお悩みの場合は、かかりつけ医にご相談ください～ 制作：健康増進課</p> </div> </div>		

## 事業実績シート

取組の名称		「食育月間」の推進	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	「毎年6月は栄養月間」の普及啓発を目的とし、食育の重要性やバランスのよい食事、野菜摂取の啓発等の食育推進を図ります。	
	対象者	市民	
	実施方法 内容	6月の食育月間に合わせて、市民向けに前橋市が発行する広報紙「広報まえばし」6月号に食育の重要性、バランスの良い食事・野菜摂取等の啓発記事を掲載します。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：6月1日 回数：1回 人数：152,459世帯（広報まえばし）	下半期（予定） 実施日： 回数： 人数：
	期待される 効果等	食に対する関心を高め、食育についての知識の向上が食生活の見直しにつながることを期待されます。食生活の改善によって生活習慣病の予防にもつながります。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	<p>「広報まえばし」</p> <p><b>健康な体づくりは食事から いつもの食生活を見直して</b></p> <p>健康増進課 ☎027-220-5783</p> <p>● 6月は食育月間です 食育とは、生涯にわたって健康に過ごすため、食をとおして生きる力を身に付けるための取り組み。例えば、食事の時のあいさつやマナーを大切にすること、バランスの取れた食事を心掛けることは、普段から取り組めることです。食べることは生きることのように、毎日口にする食べ物が、私たちの体を作り、活動源となり、病気に抵抗する力を生み出します。</p> <p>● 地産地消で食育の環を広げよう 地域で生産された物を、その地域で消費する地産地消。本市は全国でも有数の農業都市です。豊かな農畜産物を積極的に活用して食への感謝を深めましょう。本市ホームページでは、管理栄養士が作成したレシピ集も掲載しています。</p>   <p>くるくるきゅうりのしゃぶしゃぶ (レシピは上記二次元コードをご覧ください)</p>	

## 事業実績シート

取組の名称		前橋・高崎連携事業 食育推進事業	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる ■まもる	
	目的	前橋市・高崎市が連携して両市民への食育の啓発を図ることを目的に実施しています。	
	対象者	両市民	
	実施方法 内 容	① 食育に関する講座等の開催、共通資料配布 ② 共通スローガン「食卓で 笑顔と健康 育てよう」の周知 ③ 広報紙の共通記事掲載 ④ 学校給食の連携 ⑤ 食生活改善推進員の連携	
	連携団体等	高崎市、両市食生活改善推進員協議会	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：4～9月（①、②、③） 回数：①3回（からだに美味しい食講座、血糖値が気になる人の教室、栄養相談時にて配布）②随時（保健センターにて掲示）③1回 人数：	下半期（予定） 実施日：10～3月 回数： 人数：
	期待される 効果等	食育の知識、食育への関心、食事のマナーが向上し、食生活・生活習慣の改善、食事の楽しさの増進などが期待されます。 また、両市共通の内容を実施することで、より多くの市民に食育の大切さや食の正しい知識について周知できます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

## 事業実績シート

取組の名称		ごみ減量普及啓発事業 (G活チャレンジ! ステキにごみダイエット)	担当課 <u>ごみ減量課</u> 問い合わせ先 027-898-6272
概要	基本目標	□つくる <input checked="" type="checkbox"/> はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	家庭で取り組んで欲しいごみ減量のための取り組みの周知啓発を行うなかで、課題の一つである食品ロスへの現状の理解・関心を高めることを目的としています。	
	対象者	前橋市民	
	実施方法 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出前講座（座談会、バスツアーなど）での食品ロス削減の呼びかけ</li> <li>・ 食べきり協力店登録制度（新規登録なし）</li> <li>・ 段ボールコンポストの母材（竹粉と竹炭を混ぜたもの）配布</li> </ul>	
	連携団体等	フードバンクまえばし	
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期（予定）
		実施日：随時 回数：249個（母材） 人数：11人（出前講座）、 158人（母材） （7月30日現在）	実施日： 回数： 人数：
	期待される 効果等	食品ロスの知識の向上	
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)			

## 事業実績シート

取組の名称		親子で新じゃが掘り体験	担当課 芳賀公民館 問い合わせ先 027-269-6724
概要	基本目標	□つくる ■はぐぐむ ■つたえる □まもる	
	目的	学校の給食の一部は地元で採れた野菜を使っており、そのひとつであるじゃがいもの収穫を体験することで、以下のことを目指します。 家庭ではなかなかできない屋外での収穫体験を通し、地域に親しみを持ち自然に感謝する心を養います。また、共通の体験を通じて親子の交流の場を作ります。	
	対象者	小学生と保護者	
	実施方法 内 容	1 種芋の植付けから生育管理もしていただいている農事組合法人 味菜 小野里組合長様より、じゃがいもの種類や収穫方法等について説明 2 収穫体験 ※今年は新型コロナウイルス感染症予防のため、2部制にすることで人数制限をして密接を回避して開催しました。	
	連携団体等	農事組合法人 味菜	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：令和3年6月26日(土) 回数：1回(2部制) 人数：58人	下半期(予定) 実施日： 回数： 人数：
	期待される 効果等	青空の下で協力して収穫体験をすることによる、親子の交流の促進。 学校給食の一部に地元でとれた野菜が使われていることを知り、自然や食に感謝する気持ちが高まります。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

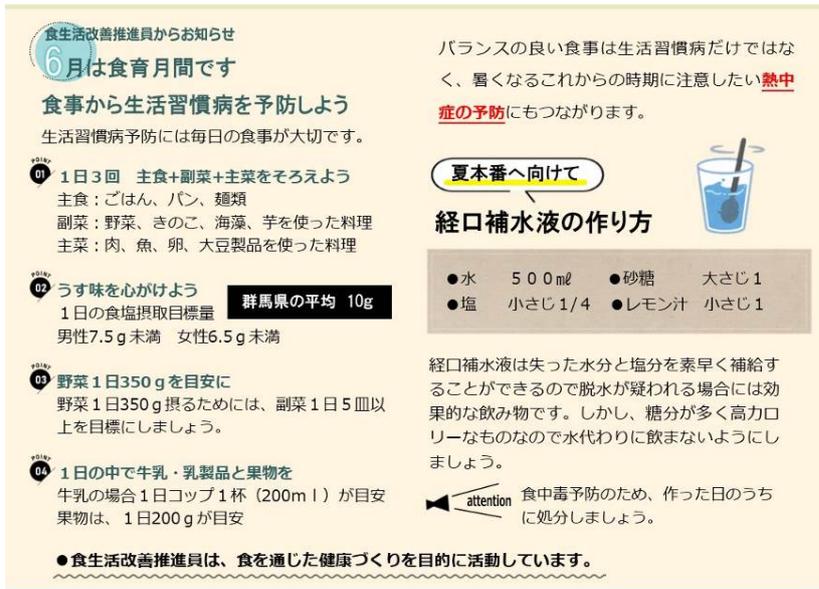
## 事業実績シート

取組の名称		令和3年度、青少年夏休みチャレンジ教室 「ころとん飾り巻きずし」を作ろう！写真展	担当課 <u>東公民館</u> 問い合わせ先 027-251-2598
概要	基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> つくる <input checked="" type="checkbox"/> はぐくむ <input type="checkbox"/> つたえる <input type="checkbox"/> まもる	
	目的	コロナ禍の中、不要不急の外出が出来ない家族が、家で出来る料理を前橋市で作成した「ころとん巻きずし」作成動画を参考に作ってもらい、家族の大切さ、料理は難しいが楽しい事、家族の絆を再認識してもらいます。またその様子を撮った写真を公民館に展示し、期間を設け市民にみていただき、楽しんでもらいます。	
	対象者	東地区在住の小学生とその家族	
	実施方法 内容	夏休み中に行う青少年チャレンジ教室の一つとして企画。地区3小学校児童全員にチラシ配布。提出は公民館代表メールアドレスに送ってもらうか、窓口で直接メディアカードを持参してもらいます。印刷は公民館で行います。今回、東地区子ども会育成団体連絡協議会と連携し、消耗品、参加賞の費用を工面してもらいました。	
	連携団体等	東地区子ども会育成団体連絡協議会	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：令和3年8月10日から 令和3年8月20日まで展示 応募数：7家族12作品	下半期（予定） 実施日： 回数： 人数：
	期待される 効果等	コロナ禍で不自由が多い中、自宅での家族の時間を使い、前橋市のキャラクター「ころとん」の巻きずしを作ることで、大切な家族の時間を共有でき、家族で料理を作る楽しさを感じ、段取りの大切さなど覚えられ、絆も深まります。また「ころとん」を料理に取り込むことで本市への郷土愛も育みます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

## 事業実績シート

取組の名称		きよさと焼教室	担当課 清里公民館 問い合わせ先 027-251-9005
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■ <b>つたえる</b> ■まもる	
	目的	①地域づくり活動の担い手による清里の歴史、食文化についての講義や交流を通じて、地域の小学生が地域の歴史や特産物に触れるとともに、社会性や地域愛を育みます。 ②清里地区特産の枝豆や玉ねぎを使った「きよさと焼」の実演（児童は見学のみ）を通して、児童が自分で料理する楽しみを想像しながら、地域の特産物を学習します。 ③地域、学校、公民館が連携して地域づくり活動に取り組む体制を強化します。	
	対象者	清里小学校3年生	
	実施方法 内容	清里小学校の授業と連携し、学校内調理実習室において清里まちづくり協議会食育部会が指導にあたりました。 1 清里地区の歴史について説明（清里村の名前の由来等） 2 県教育番組「はばたけ群馬の子どもたち」上演（過去に清里公民館で実施した「きよさと焼教室」が取り上げられた番組） 3 「きよさと焼」の実演（「きよさと焼」の材料等説明を交えながら） 4 質疑応答	
	連携団体等	清里まちづくり協議会食育部会、清里小学校	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：7月14日（水） 回数：1回 人数：37人（児童30人、学校関係者3人、まちづくり協議会3人、公民館職員1人）	下半期（予定） 実施日： 回数： 人数：
	期待される 効果等	地区内における世代間交流、地元産野菜に関する知識の向上、地域の食文化への理解の向上、食育の知識の向上、調理・食事の楽しさの増進、地域・学校・公民館の繋がりへの向上	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 	

## 事業実績シート

取組の名称		食育記事の館報掲載	担当課 粕川公民館 問い合わせ先 027-285-3311
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる	
	目的	新型コロナウイルスの感染拡大の懸念から、人を集めて調理実習及び試食会等ができなくなってしまいました。 地域の方の食育に対する意識が低下しないよう、公民館報に記事を掲載しました。	
	対象者	粕川地区住民	
	実施方法 内 容	6月の食育月間に合わせて、粕川公民館報に食育記事を掲載し、粕川地区の全世帯に配布しました。 記事の内容は、時節柄や地域性を考慮して、健康増進課で作成している「ヘルスマイト通信」の中から、抜粋して掲載しました。	
	連携団体等	粕川地区食生活改善推進員	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：令和3年6月1日 回数：1回 人数：3605世帯	下半期（予定） 実施日： 回数： 人数：
	期待される 効果等	食事に対する意識向上と、食を通じた生活習慣病の予防など、健康的な生活への意識変化を期待しています。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p>食生活改善推進員からお知らせ 6月は食育月間です 食事から生活習慣病を予防しよう 生活習慣病予防には毎日の食事が大切です。</p> <p>01 1日3回 主食+副菜+主菜をそろえよう 主食：ごはん、パン、麺類 副菜：野菜、きのこ、海藻、芋を使った料理 主菜：肉、魚、卵、大豆製品を使った料理</p> <p>02 うす味を心がけよう 1日の食塩摂取目標量 群馬県の平均 10g 男性7.5g未満 女性6.5g未満</p> <p>03 野菜1日350gを目安に 野菜1日350g摂るためには、副菜1日5皿以上を目標にしましょう。</p> <p>04 1日の中で牛乳・乳製品と果物を 牛乳の場合1日コップ1杯(200ml)が目安 果物は、1日200gが目安</p> <p>●食生活改善推進員は、食を通じた健康づくりを目的に活動しています。</p> <p>バランスの良い食事は生活習慣病だけではなく、暑くなるこれからの時期に注意したい<b>熱中症の予防</b>にもつながります。</p> <p>夏本番へ向けて 経口補水液の作り方</p> <p>●水 500ml ●砂糖 大さじ1 ●塩 小さじ1/4 ●レモン汁 小さじ1</p> <p>経口補水液は失った水分と塩分を素早く補給することができるので脱水が疑われる場合には効果的な飲み物です。しかし、糖分が多く高カロリーなもので水代わりに飲まないようにしましょう。</p> <p>attention 食中毒予防のため、作った日のうちに処分しましょう。</p>	

## 事業実績シート

取組の名称		粕川公民館子育て親子支援事業 「家族のハッピープロジェクト」 家族と一緒に手作りパンに挑戦してみよう！		担当課 粕川公民館 問い合わせ先 027-285-3311	
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ □つたえる □まもる			
	目的	①新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、公民館での講座開催が難しい中、家庭で楽しく学べる機会を提供します。 ②親子が共に学び、体験することで心豊かな親子関係をつくることを目指します。 ③調理技術と知識、道具の使い方などを学びます。 ④調理実習を通じて、食について関心を持ち、健全な食生活を実践する力を育みます。			
	対象者	粕川地区在住・在学の小中学生			
	実施方法 内容	YouTube 動画を見ながら、自宅でパン作り（調理実習）をします。 ①材料配布日に公民館へ来館し、パン作りに必要な材料を受け取ります。 ②材料受取から1週間以内に、前橋市公式 YouTube にアップされているパン作りの動画を見てもらい、自宅で実習します。 ③実習終了後、アンケートフォームから実習の感想などの意見を集約します。また、作ったパンや実習の様子などの写真をメールで送信してもらいます。			
	連携団体等	公民館利用団体 パルレ・ママ			
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：令和3年7月31日～1週間以内 回数：1回 人数：34名（大人14名 子ども20名）	下半期（予定） 実施日： 回数： 人数：		
	期待される 効果等	①親子で楽しい時間を過ごすことができるため、良好な親子関係を築くことができます。また、親子で一緒に作業を行うため、家族の会話やコミュニケーションが増えます。 ②料理をする楽しさと家族で食べることの楽しさを実感することができます。 ③手ごねパンの作り方について、学ぶことができます。			
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p>シナモンロール&amp; チョコチップパン の作り方</p> <p>YouTube のサムネイル</p>		 <p>←実習後の写真（参加者提供）↑</p>	

## 事業実績シート

取組の名称		敷島浄水場 施設見学における水道水への理解	担当課 浄水課 問い合わせ先 027-231-3075
概要	基本目標	□つくる ■はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	毎日の健全な食生活を送るためにはかかすことのできない水道水を、いかに安全で安定して供給しているかということへの理解を深めることを目的とします。	
	対象者	小学生、市民	
	実施方法 内 容	市内小学生における社会科見学や市民（自治会等の団体）の施設見学により、水道水が毎日の暮らしや食生活などとも密接した、大切なライフライン、貴重な資源であること、また安全・安心な水道水を供給する仕組みなどを説明しています。	
	連携団体等	経営企画課、水道整備課	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：6月～9月 回数：22回（9月予定） 人数：1,340人（9月予定）	下半期（予定） 実施日：10月～11月 回数：5回 人数：226人
	期待される 効果等	毎日の健全な食生活を送るためにかかすことのできない水道水が、安全で安定して供給しつづける仕組みを理解し、安心して水道水を飲んでもらえます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

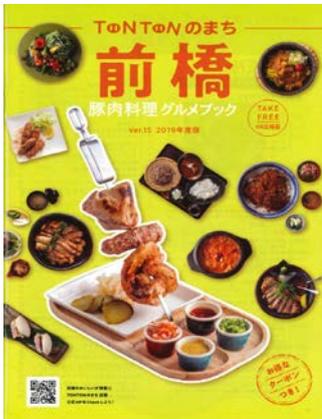
## 事業実績シート

取組の名称		地域づくり協議会が行う食育関連事業	担当課 生活課 問い合わせ先 027-898-6510
概要	基本目標	□つくる □はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	地域づくり協議会が地区の様々な団体と連携を図りながら食育を推進している事業をとおして地産地消・郷土食など食育に関心を持てるようになることを目標とします。	
	対象者	市内の各地区に住む住民（小学校期・青年期・壮年期・高年期）	
	実施方法 内 容	各地区の地域づくり協議会が食に関連する部会を設けて、地区の事業として実施しています。（一部協力）  <ul style="list-style-type: none"> <li>・みやぎ地域づくり交流会 三夜沢あずきの種まき</li> <li>・清里まちづくり協議会 きよさと焼きで使用する枝豆の植え、収穫、きよさと焼き教室</li> <li>・上川淵地区地域づくり協議会 小学生による古代米田植への支援</li> </ul>	
	連携団体等	地域おこし協力隊、小学校、公民館他	
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期（予定）
		実施日：6/26（みやぎ地区） 5/8、7/14、7/24（清里地区） 6/23（上川淵地区） 回数：1回（みやぎ地区） 3回（清里地区） 1回（上川淵地区） 人数：10人（みやぎ地区） 延べ85人（清里地区） 38人（上川淵地区）	実施日： 回数： 人数：
	期待される 効果等	地域を見つめなおす中で伝統的な食材、郷土食の普及を行っているが、その取組が地域内の交流を高める要素もあり、一部ではあるが地域を越えた広がりもみられ、食育を通じた地域間交流も期待できます。	
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)			

## 事業実績シート

取組の名称		T-1グランプリの実施 (代替え事業の可能性あり)	担当課 観光政策課 問い合わせ先 027-257-0674
概要	基本目標	□つくる □はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	まえばし豚肉料理No.1決定戦「T-1グランプリ」の開催など、「TONTONのまち前橋」の取り組みを進めることで、地域でとれる農産物を生かした料理、メニューの開発、地元農産物の普及と紹介に努めてきました。本年度も同様の目的で新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じつつ事業を行います。	
	対象者	前橋市民、本市を訪れる方	
	実施方法 内 容	民間委員で組織する「ようこそまえばしを進める会」の委託事業として実施。 実施方法・実施内容共に決定していないが、地元農産物の普及に資する事業を行う予定。	
	連携団体等	ようこそまえばしを進める会、T-1グランプリ実行委員会	
実績	実施日 回 数 人数等	上半期	下半期 (予定)
		実施時期、実施内容の検討	未定
	期待される 効果等	食文化への理解の向上、食事の楽しさの増進。  平成31年度は660票の一般投票、104名の覆面審査員による審査が行われるなど、市内はもちろん、市外からも多くの方に参加していただき、本市を代表するグルメイベントとなっています。また、「T-1グランプリ」を通じて、「TONTONのまち前橋」のPRを行っています。令和2年度は代替えとして「T-1 Presents TONTON Goとんチャレンジ」を実施したところ、518口の応募があり、代替え事業についても「T-1グランプリ」同様の効果が期待されます。	
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	  		

## 事業実績シート

取組の名称		TONTONのまち前橋 豚肉料理グルメブックの作成、加盟店舗の普及		担当課 観光政策課 問い合わせ先 027-257-0674
概要	基本目標	□つくる □はぐくむ ■つたえる □まもる		
	目的	地産地消の推進に向けて、「TONTONのまち前橋」加盟店舗の参加を呼びかけます。また、群馬県産豚肉を食材とした料理を提供している「TONTONのまち前橋」加盟店舗の普及を図ります。		
	対象者	前橋市民、本市を訪れる方		
	実施方法 内 容	民間委員で組織する「ようこそまえばしを進める会」の委託事業として実施。 群馬県産豚肉を食材とした料理を提供している「TONTONのまち前橋」加盟店舗を、「豚肉料理グルメブック」や「TONTONのまち前橋」ホームページにてPR。加盟店舗の参加・普及を図るため、「TONTONのまち前橋」の周知を図ります。		
	連携団体等	ようこそまえばしを進める会		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 ■ TONTONのまち前橋豚肉料理 グルメブックの発行 ■ 第16版、3.5万部発行	下半期 ■ TONTONのまち前橋加盟店の継続 的な募集・周知	
	期待される 効果等	食文化への理解の向上、食事の楽しさの増進、食育の知識の向上。 「TONTONのまち前橋」加盟店舗を掲載した「豚肉料理グルメブック」は、市内はもちろん市外への前橋グルメPRに活用しています。 また、豚肉料理の健康への効果や、地域で飼育された豚肉の美味しさを伝えています。		
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 		

2019年度版

## 事業実績シート

取組の名称		郷土料理講習会	担当課 農政課 問い合わせ先 027-898-5841
概要	基本目標	■つくる ■はぐぐむ ■ <b>つたえる</b> □まもる	
	目的	粉食文化が根付く前橋市の郷土料理の数々を広めるため、市民を対象にした郷土料理講習会を実施し、伝統食文化の伝承、スローフード及び地産地消の推進を図ります。 また、調理実習を通じて、地産地消センターの利用促進を図ります。	
	対象者	市内在住の市民	
	実施方法 内 容	前橋市地産地消センター職員に講師を依頼し、同施設にて実施します。 ・前橋産小麦粉を使用した炭酸まんじゅうと手打ちうどんの調理実習 ・アンケート	
	連携団体等	前橋市農業協同組合	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日： 回数： 人数：	下半期（予定） 実施日：10月21日、22日 回数：2回 人数：16人（8人×2日間）
	期待される 効果等	調理技術の向上、食文化への理解の向上、地産地消の推進。 昨年度の事業実施後のアンケートでは、「幼いころに家族が作ってくれた昔懐かしい味を自分で作ることができて嬉しい」という意見もあり、郷土料理をより身近に感じてもらうことができると同時に、世代を超えた市民交流の場としての効果も期待されます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p style="text-align: right;">※昨年度実施の様子</p>	

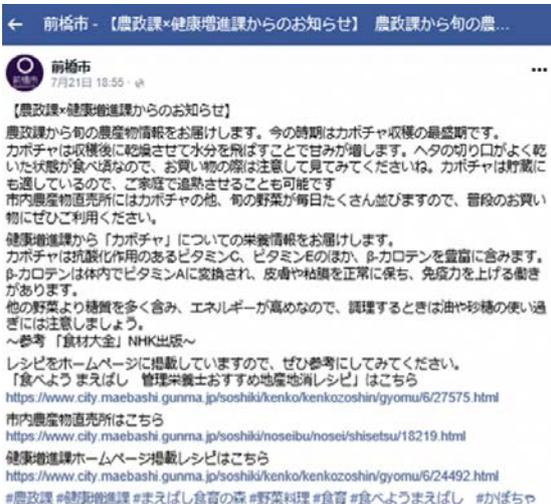
## 事業実績シート

取組の名称		赤城の恵ブランド推進事業	担当課 農政課 問い合わせ先 027-898-5841
概要	基本目標	□つくる □はぐぐむ <b>■つたえる</b> ■まもる	
	目的	遊休農地解消作物や前橋ブランドとなりうる作物の作付けの推進を図り、差別化された付加価値のある農林水産物や加工品について普及啓発活動等に取り組み、遊休農地の解消と併せ、赤城の恵ブランド認証制度の普及推進や農商工連携による認証品の創出を通じた農業振興を目標としています。	
	対象者	市内外の方々	
	実施方法 内容	前橋市赤城の恵ブランド認証制度実施要綱に基づき実施しています。 ・赤城の恵ブランド認証品の募集・決定（年2回） ・赤城の恵ブランド認証品の広報まえばしや市ホームページ等での周知 ・赤城の恵ブランドの認知度向上、販路拡大を目的とした各種イベントの実施 ・認証品の生産者等に対する、食品衛生や適正な食品表示等についての周知啓発活動の実施	
連携団体等	生産者、前橋市赤城の恵ブランド認証受証者、前橋市農業協同組合、群馬県卸酒販(株)、(公財)前橋観光コンベンション協会、前橋商工会議所、群馬県中部農業事務所、前橋市農業委員会、政策推進課、観光政策課、産業政策課、にぎわい商業課		
実績	実施日 回数 人数等	上半期（予定） 認証者を対象とした研修会8月31日 ほか認証品普及促進活動	下半期（予定） 認証品ギフトキャンペーン・市内飲食店 連携等の各種イベント実施による認証 品の普及促進活動、認証者を対象とした 講習会を実施（予定）
	期待される 効果等	食育の知識向上、食育への関心の向上、食文化への理解の向上、食の安全への意識の向上、人との交流の促進。  赤城の恵ブランド認証品は、前橋産農林水産物やそれらを原材料に使用する加工品のうち、食の安全・安心や地産地消に取り組む品質の良いものとして、厳しい審査で選ばぬかれたものです。「赤城の恵ブランド認証品」を多くの市民の方に知っていただき、手にとっていただくことは、前橋産農林水産物への理解を深めることにつながるため、継続的に「赤城の恵ブランド認証品」の認知度の向上、販路拡大に努めていきます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	  <p>送料無料のギフトキャンペーン</p> <p>市内飲食店と連携して行った 認証品のイチゴを使ったフェア</p> <p>※画像は昨年度の事業実施の際に使用したもので、今年度も同様の事業を実施予定</p>	

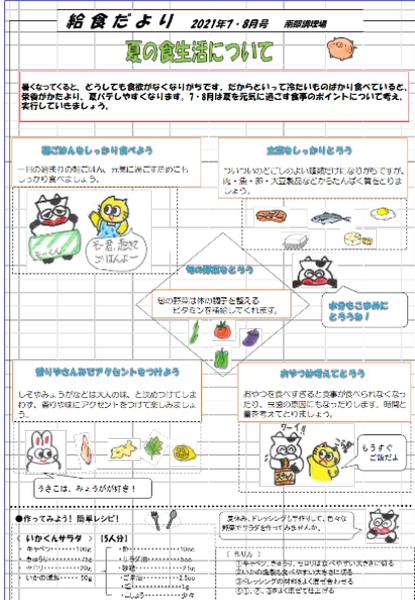
## 事業実績シート

取組の名称		伝統野菜づくり事業	担当課 農政課 問い合わせ先 027-898-5841
概要	基本目標	□つくる □はぐぐむ ■ <b>つたえる</b> ■まもる	
	目的	前橋北部地区で栽培されている伝統野菜及び時沢大根を育成するため、整地から種まき、収穫、加工を行い、農業にふれあうことで、農業に対する理解と地域農産物の消費拡大を推進し、農業の振興、地産地消の推進をはかるとともに、伝統野菜を伝承していくこと。	
	対象者	市内在住・在勤の方	
	実施方法 内 容	生産者団体等と連携して実施 農業に触れ合うことによる農業への関心と食文化への理解の向上を目指して、各団体が主催する農業体験の運営費補助を実施	
	連携団体等	農事組合法人「味菜」、富士見商工会（時沢大根復活プロジェクト）	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 さつま芋植え付け (6/6) 宮内菜種まき (9/12) 上泉大根種まき (9/12)	下半期 (予定) さつま芋 収穫(10/10頃から各自で) 上泉大根 収穫(11/23) たくあん漬け(12/5) 宮内菜 収穫(2/20頃から)
	期待される 効果等	食文化への理解向上、地産地消の推進、農業への関心の向上、前橋産農産物の消費拡大、人との交流の促進。 伝統野菜の植え付け、種まきから収穫まで、一連の農業体験の運営を支援することで、幅広い世代の方に食文化と農業への関心向上が期待できます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <p>さつま芋植え付け</p>  <p>たくあん漬け</p>	

## 事業実績シート

取組の名称		農政課と連携した食情報発信	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■ <b>つたえる</b> □まもる	
	目的	農政課と連携して前橋の農産物の情報やレシピを発信することで、農産物消費増加、農産物直売所利用促進、野菜摂取量増加を図ります。	
	対象者	市民	
	実施方法 内容	SNS ツール（前橋市公式 Facebook、インスタグラム）にて食に関する情報発信を行いました。農政課からは旬の農産物情報と市内農産物直売所の利用促進のお願い、健康増進課からは、農政課で提供した情報に合わせ、農産物の栄養情報、レシピや料理写真を提供しました。	
	連携団体等	農政課	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：5月21日、7月21日、 9月（予定） 回数：3回 人数：	下半期（予定） 実施日：11月、1月、3月 回数：3回 人数：
	期待される 効果等	市民の前橋産の農産物への興味関心を引き付け 農産物の消費増加 農産物直売所の利用促進 野菜摂取量の増加等の相乗効果  担当課が持つ情報（農産物情報、栄養情報、レシピ等）を連携して情報発信することで、市民の興味を引き付け、購買意欲や健康志向等への関心を高め、相乗効果が期待できます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	7月 Facebook 投稿記事   	

## 事業実績シート

取組の名称	食に関する情報提供		担当課 教育委員会総務課 問い合わせ先 027-898-5809
概要	基本目標	□つくる □はぐぐむ ■ <b>つたえる</b> □まもる	
	目的	様々な広報媒体を活用して、学校給食に関する情報を提供・発信することで、学校給食への理解を深め、食育への興味や関心を高めます。	
	対象者	市立小中学校の児童生徒、児童生徒の保護者	
	実施方法 内 容	<p>毎月の給食だよりや献立表・アレルギー詳細献立表は配布及びホームページへ掲載し、使用食材の産地や放射性物質検査の結果はホームページに掲載します。</p> <p>また、前橋市の学校給食の魅力をPRするため、SNSを活用して給食の写真や献立内容などを発信します。</p> <p>【情報提供の方法】</p> <p>① 学校を通して家庭に配布 ② 市ホームページに掲載 ③ フェイスブックに掲載</p>	
	連携団体等	学校教育課	
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期（予定）
	実施日 回数 人数等	実施日： 随時 回数： 人数：	実施日： 随時 回数： 人数：
期待される 効果等	食育への関心の向上、食文化への理解、学校給食への不安の軽減・解消		
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)			

## 事業実績シート

取組の名称		地産地消の推進	担当課 教育委員会総務課 問い合わせ先 027-898-5809
概要	基本目標	□つくる <input checked="" type="checkbox"/> はぐぐむ <input checked="" type="checkbox"/> つたえる □まもる	
	目的	学校給食に地場産農畜産物を取り入れることで、児童生徒の食育への関心と地域の食文化への理解を深めるとともに、学校給食への愛着心を育むことで、食べ残しを減少させます。	
	対象者	市立小中学校の児童生徒	
	実施方法 内 容	身近な旬の地場産農産物を取り入れられる献立作成に努め、地場産農畜産物を優先的に使用します。地場産農畜産物の使用は、献立表や放送資料を通して児童生徒に周知します。	
	連携団体等		
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 【前橋産野菜の使用率（重量ベース）】 36.61% （第一学期の給食提供分）	下半期（目標） 【前橋産野菜の使用率（重量ベース）】 43.00% （目標）
	期待される 効果等	食の安全への意識の向上、食育への関心と知識の向上、残食の減少	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）		

## 事業実績シート

取組の名称		行事食と郷土食の提供	担当課 教育委員会総務課 問い合わせ先 027-898-5809
概要	基本目標	□つくる ■はぐぐむ <b>■つたえる</b> □まもる	
	目的	児童生徒に地域の伝統行事に関連する行事食や郷土食を学校給食で提供し、伝統文化の大切さを伝え、地域の優れた食文化への理解を深めます。	
	対象者	市立小中学校の児童生徒	
	実施方法 内 容	季節に応じた行事食や郷土食を学校給食の統一献立として毎月1回提供し、校内放送等で由来を説明・紹介することで食育指導を行います。	
	連携団体等	学校教育課	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 <b>【実施月・行事名】</b> 4月 入学・進級祝い 5月 こどもの日 6月 歯と口の健康週間 7月 七夕 9月 十五夜	下半期（予定） <b>【実施月・行事名】</b> 10月 学校給食ぐんまの日 11月 収穫の祝い 12月 冬至 1月 学校給食週間 2月 節分 3月 ひなまつり・卒業祝い
	期待される 効果等	食文化への理解の向上、食への興味・関心の向上	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	<b>【行事食の献立内容】</b> 4月 入学祝い ・赤飯 ・ごま塩 ・えびフライ ・キャベツあえもの ・わかめのみそ汁 ・牛乳	

## 事業実績シート

取組の名称		減塩及び郷土食パネル展示	担当課 下川淵公民館 問い合わせ先 027-265-0651
概要	基本目標	■ つくる □ はぐくむ ■ つたえる □ まもる	
	目的	減塩について知識を深め、日々の料理に活かし、健康づくりに役立ててもらうとともに、下川淵地区でも昔作られていた「じじ焼き」のレシピを紹介し郷土食を伝えるきっかけとするもの。	
	対象者	一般	
	実施方法内容	調理実習室における集団での調理活動が難しかったため、パネル展示を中心にを行いました。減塩について、食生活改善推進員作成のパネル展示を行い、コロナワクチンの予約で訪れた方々を含む来館者に閲覧していただきました。また、地域で昔よく食されていた「じじ焼き」について、調理実習室において地域ボランティアが再現し、その工程を写真に取り、パネルとして展示を行いました。	
	連携団体等	食生活改善推進員	
実績	実施日回数人数等	上半期 実施日：7月 回数： 人数：	下半期 実施日： 回数： 人数：
	期待される効果等	公民館部屋利用のグループ、コロナワクチンの予約に訪れた方々など、減塩について学んでもらう機会となりました。また、地域の伝統食「じじ焼き」の作成工程を写真パネルとして展示し、普段取り上げられることの少ないこの地域の郷土食を知ってもらい、故郷の食文化に触れてもらうことができました。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

## 事業実績シート

取組の名称		給食施設巡回指導及び研修会	担当課 衛生検査課 問い合わせ先 027-220-5778
概要	基本目標	□つくる □はぐぐむ ■つたえる ■まもる	
	目的	○給食施設に対し、適切な指導及び助言を行うことにより、喫食者の栄養管理、健康増進の維持向上を図ります。 ○病院等の大量調理施設に対し衛生管理指導を行うことにより、集団食中毒を未然に防止します。	
	対象者	給食施設設置者及び給食関係従事者	
	実施方法 内 容	○市内給食施設を定期的に巡回し、栄養管理及び衛生管理についての書類確認や現地調査を行い、指導及び助言を行います。 ○給食施設従事者に対し研修会を行い、栄養管理及び衛生管理に関する情報提供を行います。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 【巡回指導】 実施日：①4～5月、②9月 回数：①11施設、②未定 【研修会】 実施日：①7月30日、②8月3日、 ③8月6日 参加人数：①39人、②52人、③24人	下半期（予定） 【巡回指導】 実施日：10～11月、2～3月 回数：未定
	期待される 効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食利用者の健康保持増進</li> <li>給食利用者の食育推進</li> <li>安全な給食の提供</li> </ul>	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	研修会の様子 	

## 事業実績シート

取組の名称		食品衛生講習会	担当課 衛生検査課 問い合わせ先 027-220-5778
概要	基本目標	□つくる □はぐぐむ □つたえる ■まもる	
	目的	講習会を通して、市民や食品関連事業者等に対し食品の衛生的な取り扱いや食中毒予防等、食品衛生に関する正しい知識の普及啓発を図ります。	
	対象者	市民、食品関連事業者等	
	実施方法 内 容	(1) 出前講座 「食中毒予防について」(ZOOM 開催)	
	連携団体等	(1) 生涯学習課	
実績	実施日 回数 人数等	上半期  【それいけ！まえばし出前講座】 実施日：7月20日 参加者：19名	下半期（予定）  未定
	期待される 効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食中毒や衛生管理に関する知識の向上</li> <li>・食品の安全確保の促進</li> </ul>	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		